

marantz®

CD Receiver

M-CR603

取扱説明書

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止
⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け
●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない
本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。
火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止　高温注意

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない
使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽症を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意
禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切っても電源コンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意
指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

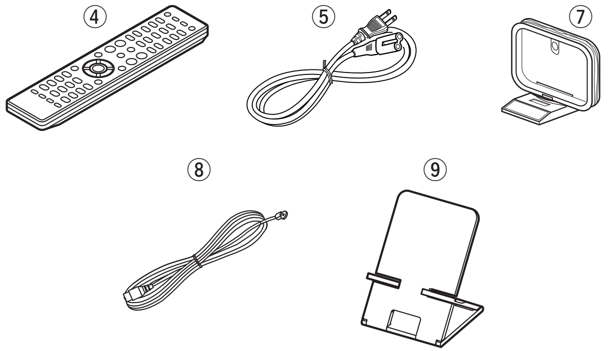
お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所 / サービスセンターにお問い合わせください。

目次

付属品を確認する

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）..1
② 保証書（梱包箱に貼り付けています）..............................1
③ 製品のご相談と修理･サービス窓口のご案内 1
④ リモコン（RC009CR） 1
⑤ 電源コード【本機専用】（長さ：約2m）...........................1
⑥ 単4形乾電池...2
⑦ AMループアンテナ 1
⑧ FM室内アンテナ 1
⑨ iPodスタンド...1



本書について

❏操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

❏マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

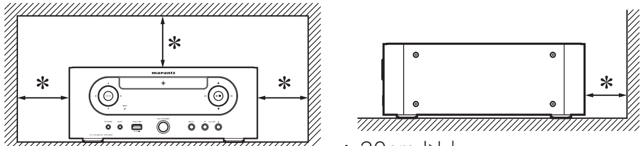
❏イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



＊30cm 以上

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

本機の特長

高音質デジタルアンプの搭載とバイアンプ方式の採用

DLNA（Digital Living Network Alliance） ver. 1.5 に準拠したネットワーク機能搭載

vTuner を利用してインターネットラジオラジオステーション検索

iPhone® や iPod® の再生に対応した USB 端子搭載

Bluetooth レシーバーRX101（別売）接続端子 M-XPort 搭載

３行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載

スタイリッシュなアルミニウムコンパクトボディ

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

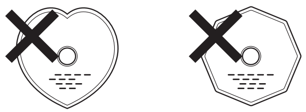
❶ 音楽用CD

本機で使用できる CD は、右のマークが付いているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。

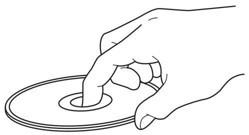


- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ファイナライズとは？

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ディスクの持ちかた



ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に置いてください。

図 1

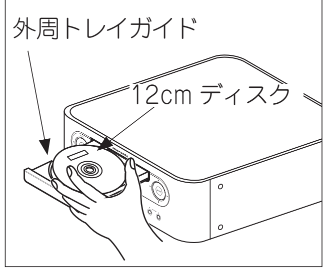
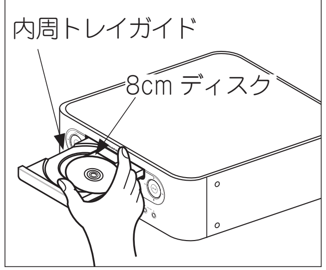


図 2



- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて置いてください。

✎

- 再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported” を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“No Disc”を表示します。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

取り扱いについてのご注意

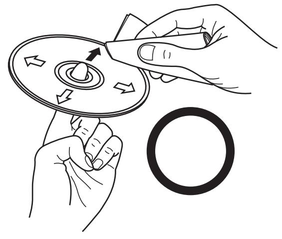
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

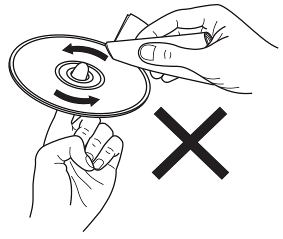
- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてく
- ださい。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。



内周から外周方向へ軽く拭く。



円周に沿っては拭かない。

ご注意

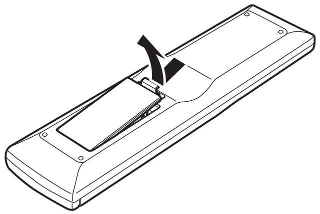
レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

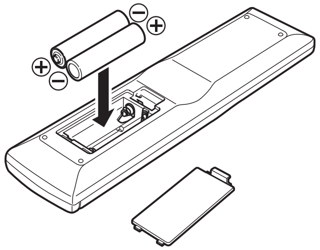
リモコンについて

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示とおりに入れる。





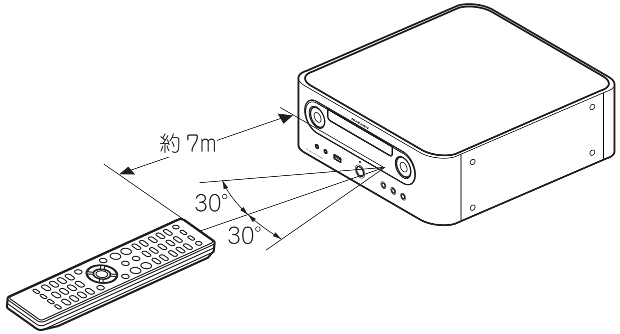
③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 乾電池を直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内に付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。



ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。

接続

この章では、スピーカー、録音機器およびアンテナの接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

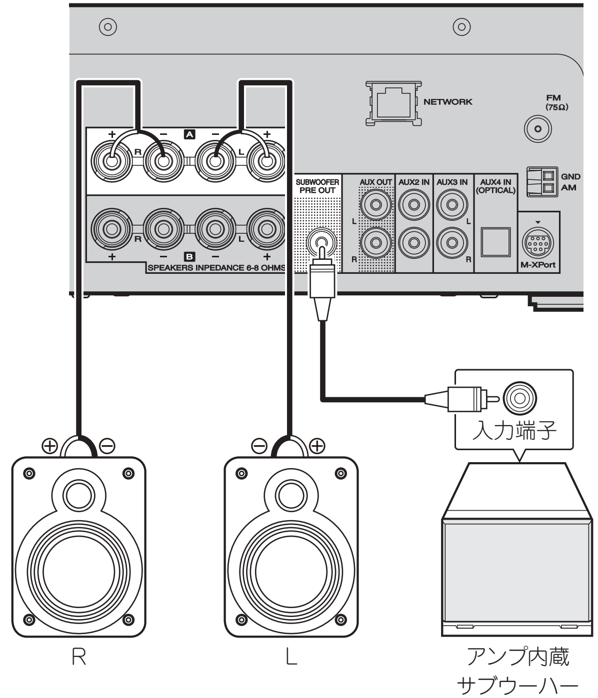
❑ ワイヤレスレシーバー(RX101)を接続する (☞25 ページ)

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルを一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。

スピーカーの接続

音声ケーブル（別売り）		
ピンプラグケーブル	（黒）	
スピーカーケーブル	+ −	+ −



接続したスピーカー A、B 端子に合わせて本機のスピーカー出力を設定します(☞33 ページ「スピーカー出力の設定」)。
初期設定は SPEAKER A です。

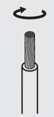
ご注意

スピーカーの設定は音量を小さくしてから行なってください。

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、＋(赤)、－(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

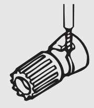
1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理(半田付け)をおこなう。



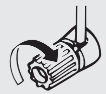
2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

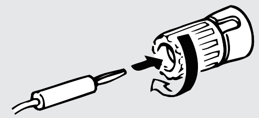


4 スピーカー端子を右に回して締める。



❑バナナプラグをご使用になる場合

スピーカー端子を右に回して締めてから、バナナプラグを差し込む。



ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが 6 〜 8 Ωのものをお使いください。指定されたインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します(☞6 ページ「保護回路について」)。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

次のときに保護回路が動作します。

- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやねじに接触したり、スピーカーケーブルの+、−側が接触しているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

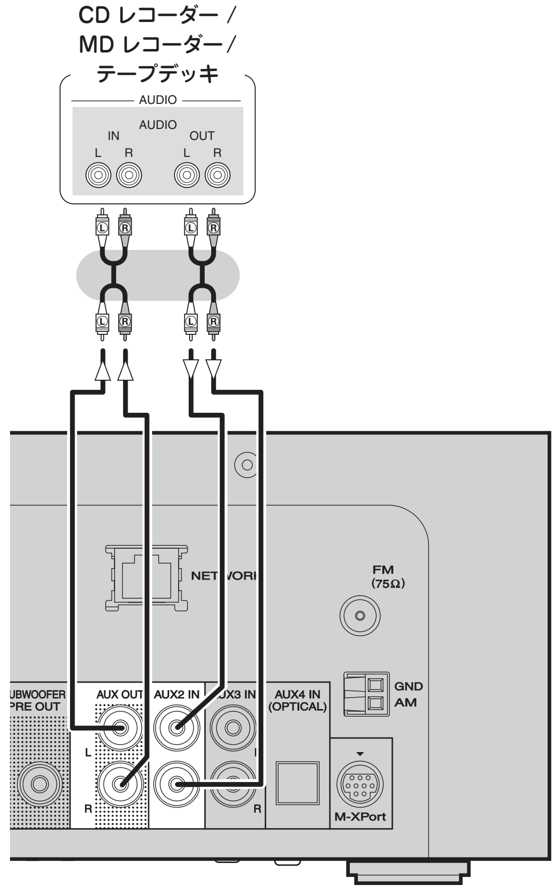
保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、タイマーインジケーターが赤色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。そのあと、もう一度電源コードを入れ直してください。本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、当社の修理相談窓口にご連絡ください。

録音機器の接続

CD レコーダーや MD レコーダー

接続に使用するケーブル

音声ケーブル (別売り)	
ステレオピンプラグケーブル	（白）（赤）

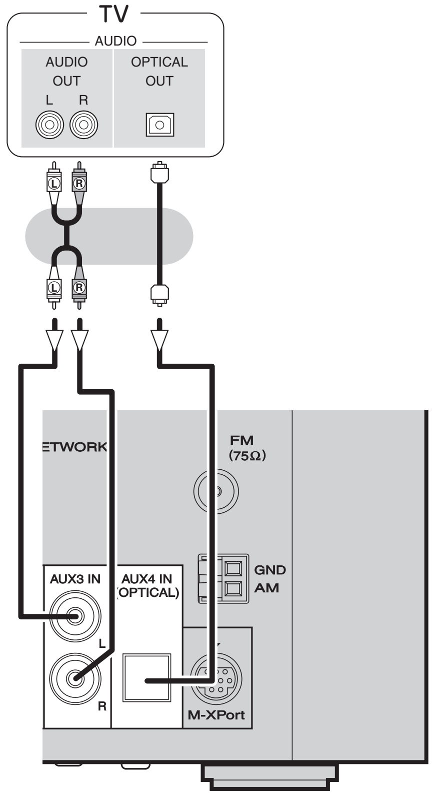


テレビを接続する

- 接続する機器に合わせて端子を選び、接続してください。
- 本機を通してテレビの音声を聞く場合は、デジタル出力端子（OPTICAL）に接続してください。

接続に使用するケーブル

音声ケーブル（別売り）	
ステレオピンプラグケーブル	（白）（赤）
光伝送ケーブル	



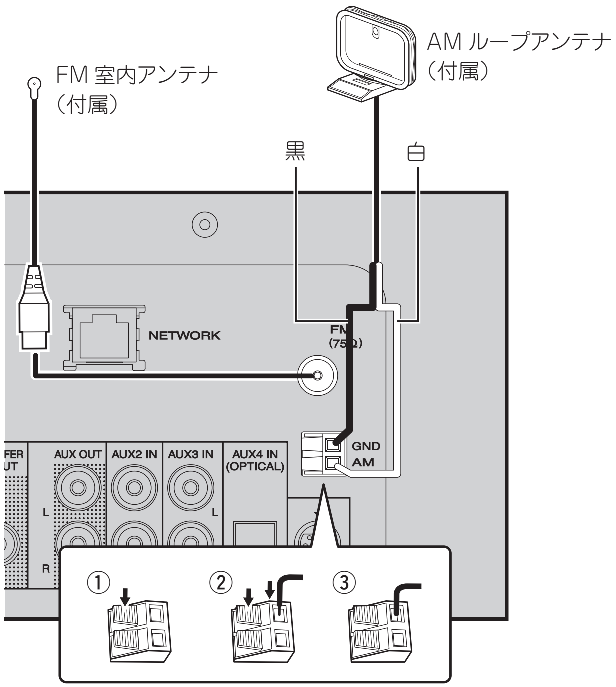
ご注意

本機の AUX4 IN（OPTICAL）端子で入力できるデジタル音声信号は 2 チャンネルリニア PCM のみです。
2 チャンネルリニア PCM 信号以外のデジタル音声信号を本機に入力する場合は、TV のデジタル音声出力設定を 2 チャンネル PCM に設定してください。
詳しくは TV の取扱説明書をご覧ください。

アンテナの接続

FM/AM アンテナを接続する

- 本機に付属の FM アンテナや AM ループアンテナを接続すると、ラジオ放送を楽しむことができます。
- アンテナを接続したあとに放送を受信（☞16 ページ「放送局を受信する」）し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。



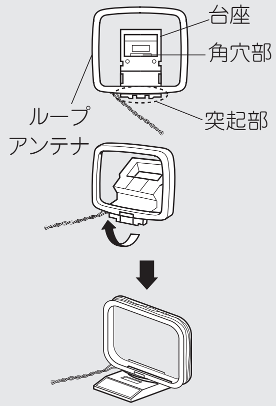
ご注意

- 2 つの FM アンテナを同時に接続しないでください。
- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないかご確認ください。
- AM や FM の受信感度はアンテナの設置場所や設置方向によって変わります。最もよく受信できるところに設置してください。
- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

❑AM ループアンテナの組み立てかた

1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。

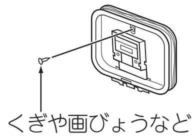
2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。



❑AM ループアンテナの使いかた

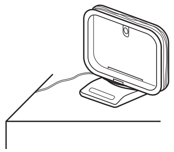
壁に掛けて使う

組み立てずにそのままお使いください。



置いて使う

図のように組み立ててお使いください。

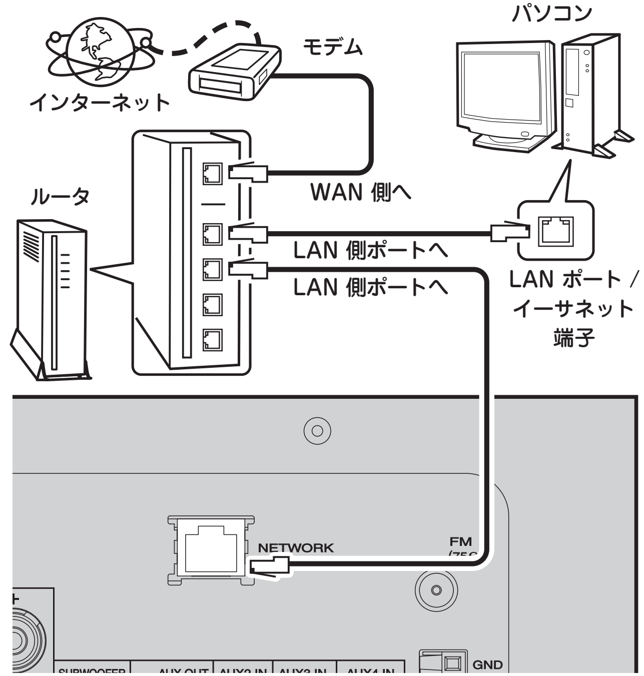


ホームネットワーク（LAN）に接続する

- 本機をホームネットワークに接続すると、パソコンに保存されている音楽ファイルやインターネットラジオの音声などをお楽しみいただけます。
- 当社のホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートできます。
  詳しくは、メニューの「ファームウェアのアップデート」（☞32 ページ）をご覧ください。
- ネットワーク設定のしかたは、メニューの“Network Setup”「ネットワークの設定［Network］」（☞28ページ）をご覧ください。

接続に使用するケーブル

ケーブル（別売り）	
イーサネットケーブル	



インターネットの接続については、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

必要なシステム

❑ブロードバンド回線によるインターネット接続

❑モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットと通信をおこなうための機器です。
ルータと一体型のものもあります。

❑ルータ

本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。

- DHCP サーバー内蔵
  LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TX スイッチ内蔵
  複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。

❑イーサネットケーブル（CAT-5 以上を推奨）

- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルをお使いください。
- イーサネットケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響をおよぼす可能性があります。

✎

- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、メニューの“Network Setup”「ネットワーク接続（DHCP=Off）」（☞28 ページ）をおこなってください。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、メニューの“Network Setup”「ネットワーク接続（DHCP=Off）」（☞28 ページ）で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。
- 手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

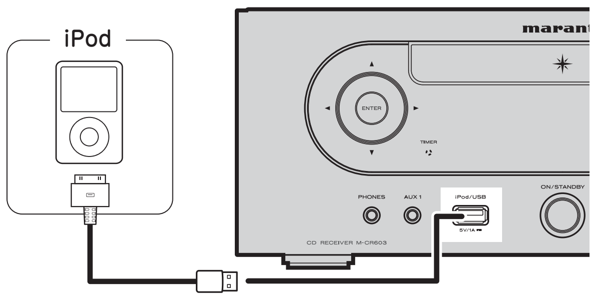
ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。
  すでにブロードバンド回線を利用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 当社では、お客様のネットワーク環境および接続機器に関する通信エラーや不具合については一切責任を負いかねます。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- イーサネット端子は、直接パソコンの LAN ポート / イーサネット端子と接続しないでください。

iPod を接続する

接続に使用するケーブル

音声ケーブル（別売り）	
iPod ケーブル	



iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。

❑対応 iPod



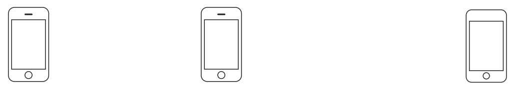
iPod touch 1st generation 8GB 16GB 32GB	**iPod touch** 2nd generation 8GB 16GB 32GB	**iPod classic** 120GB 160GB (2009)	**iPod classic** 80GB 160GB



iPod 5th generation (video) 30GB	**iPod** 5th generation (video) 60GB 80GB	**iPod nano** 1st generation 1GB 2GB 4GB	**iPod nano** 2nd generation (aluminum) 2GB 4GB 8GB



iPod nano 3rd generation (video) 4GB 8GB	**iPod nano** 4th generation (video) 8GB 16GB	**iPod nano** 5th generation (video camera) 8GB 16GB



iPhone 3G 8GB 16GB	**iPhone 3GS** 16GB 32GB	**iPod touch** 3rd generation 8GB 32GB 64GB

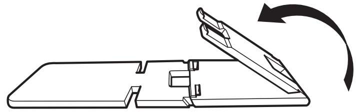
iPod スタンド

付属の iPod スタンドに、iPod や iPhone を置いて使用することができます。

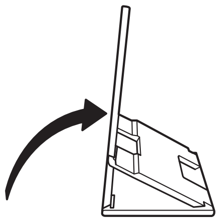
❑組み立てかた

以下の手順で組み立ててください。

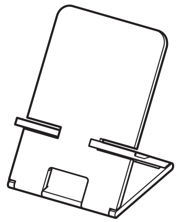
①



②

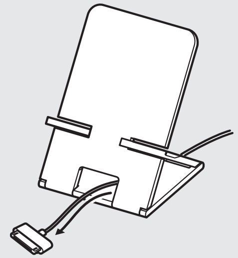


③



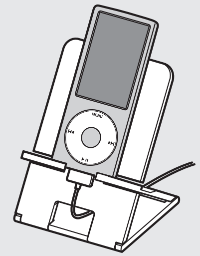
❑iPod の置きかた

1 iPod スタンドの穴から iPod ケーブルを通す。



2 iPod ケーブルを iPod に接続する。

3 iPod stand に iPod を置く。

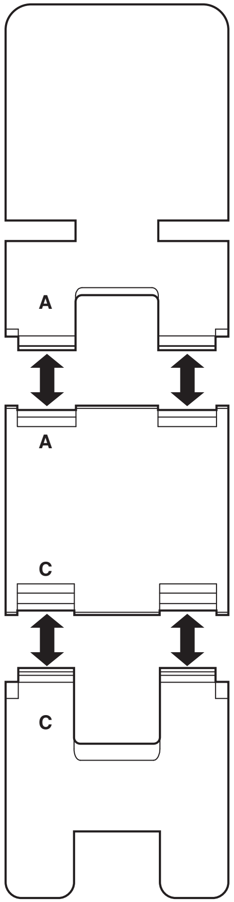


ご注意

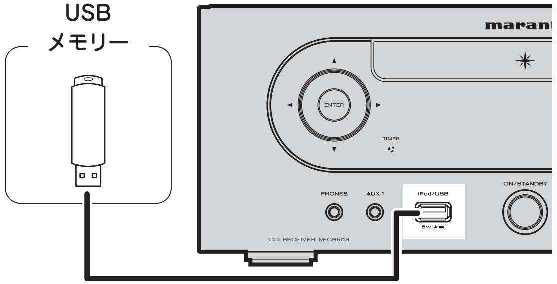
- iPod スタンドは、必ず水平な場所に置いてください。
- iPod スタンドに iPod や iPhone を置いたまま操作しないでください。iPod がスタンドから落ちる場合があります。
- iPod の中には、iPod ケーブルを接続すると、iPod の底面がふさがり、iPod スタンドに置けないものがあります。
- iPhone を iPod スタンドに置く場合、必ずバイブレーション機能を無効にしてください。iPhone が転倒し、破損の原因となります。
- iPod スタンドを本用途以外で使用することは避けてください。
- 本製品を使用しているときに、万一接続機器を破損した場合、当社は一切責任を負いません。

❑iPod スタンドが外れた場合

以下のように組み立ててください。



USB メモリーの接続



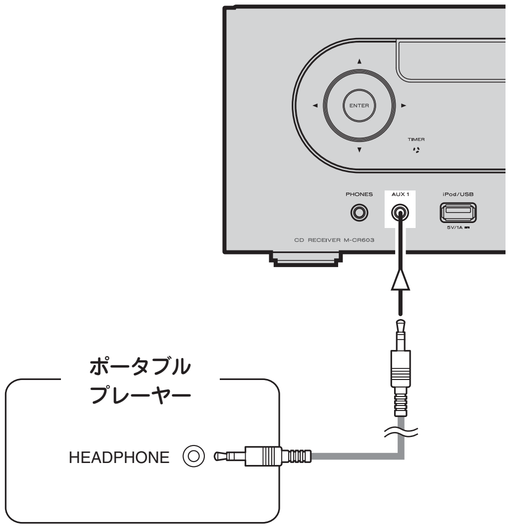
ご注意

- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。
- USB メモリーの詳細については、「USB メモリーについて」（☞40 ページ）をご覧ください。

ポータブルプレーヤーを接続する

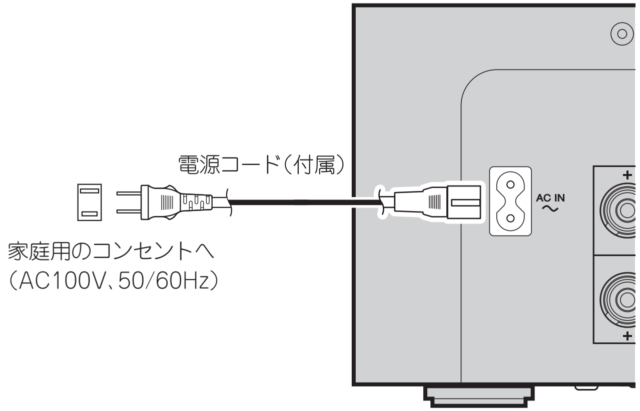
接続に使用するケーブル

音声ケーブル（別売り）	
ステレオミニプラグケーブル	



本機とポータブルプレーヤーを、別売りのステレオミニプラグケーブルで接続する。

電源コードの接続



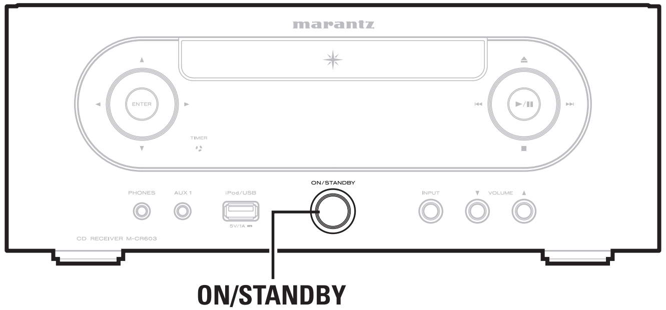
ご注意

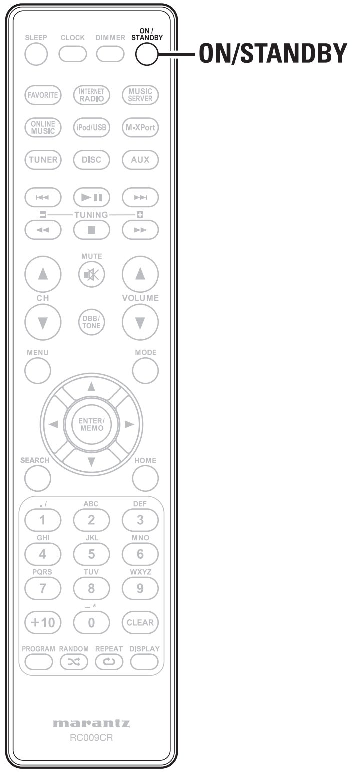
- 付属の電源コード以外は、使用しないでください。
- 本機の AC インレットへの電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

基本操作

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの	**BUTTON**
本体のみにあるもの	**<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの	**[BUTTON]**





ここでは、設定や再生等の基本操作を説明します。
その他の操作方法は、以下の章をご覧ください。

❏ **タイマー設定 [Timer]（☞26 ページ）**
❏ **その他の設定 [Other]（☞32 ページ）**

準備

電源を入れる

ON/STANDBY を押す。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** を押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。

❏電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜く。

- 電源コードをコンセントから抜くと、時刻設定が解除されますのでご注意ください。
- 長期に渡り電源コードをコンセントから抜いた状態でいると、各ソースで設定した設定内容が消えてしまうことがあります。

電源を切る

ON/STANDBY を押す。
電源表示が消灯し、電源が切れます。

ご注意

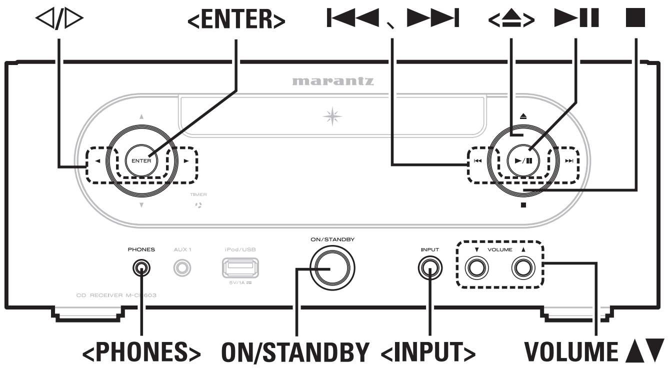
- 再生を停止してから、電源を切ってください。

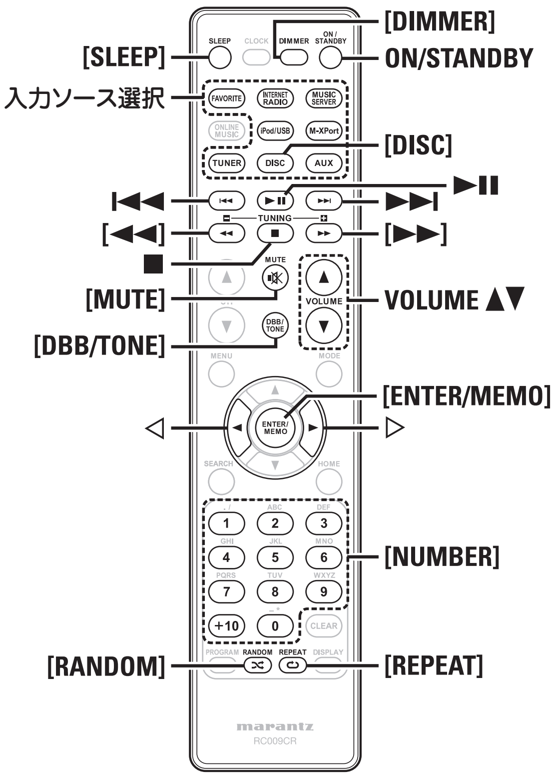
現在時刻の合わせかた（自動）（24 時間表示）

- ネットワークに接続している製品は、現在の時刻を自動で設定します。
- お買い上げ時の本機のタイムゾーン設定は日本標準時間です。
- ネットワークに接続していない製品は、手動で設定します。「現在時刻の合わせかた（手動）（24時間表示）」（☞27 ページ）を参照してください。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの	BUTTON
本体のみにあるもの	<BUTTON>
リモコンのみにあるもの	[BUTTON]

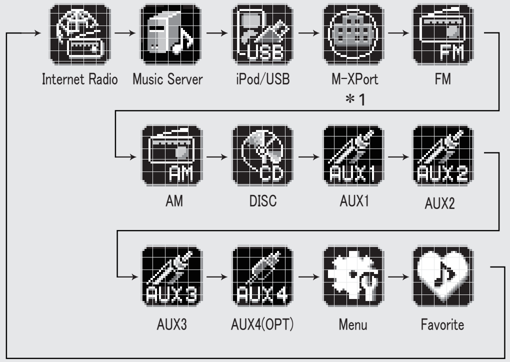




再生中にできる操作

入力ソースを切り替える

<INPUT> を押して、◁ ▷ で入力ソースを切り替え、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。



＊1 "M-XPort" は M-XPort にワイヤレスレシーバー RX101 を接続しているときのみ表示します。

入力ソース選択ボタン([FAVORITE]、[INTERNET RADIO]、[MUSIC SERVER]、[iPod/USB]、[M-XPort]、[TUNER]、[DISC] または [AUX])を押す。

音量を調節する

VOLUME df を押す。

音量レベルを表示します。

【 調節できる範囲 】

VOLUME 0 - 60　お買い上げ時の設定は 0 です。

一時的に音を消す(ミューティング)

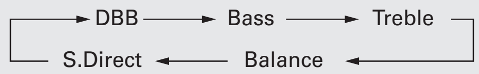
[MUTE] を押す。

ディスプレイに"MUTING"を表示します。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** を押してください。
(**VOLUME df** を押しても解除できます。)

音質を調節する

1 **[DBB/TONE] を押して、調節する項目を選ぶ。**



2 **◁ ▷ を押して、音質を調節する。**

- 続けて他の音質を調節するときは、**[DBB/TONE]** を押してください。
- 約 5 秒間操作をしないと調節した状態を保持して、通常の表示に戻ります。

DBB	低音を強調します。(Dynamic Bass Boost) **【 調節できるモード 】** ON – OFF
BASS	低音を調節します。 **【 調節できる範囲 】** –10dB – +10dB
TREBLE	高音を調節します。 **【 調節できる範囲 】** –10dB – +10dB
BALANCE	左右の音量バランスを調節します。 **【 調節できる範囲 】** L6 – CENTER – R6
S.DIRECT	音量は調節しません。 ソースダイレクトモードで再生します。

【お買い上げ時の設定】

- DBB .... OFF
- BASS 0dB
- TREBLE 0dB
- BALANCE..............CENTER

DBB、BASS、TREBLE は同時に設定することができます。

スリープタイマーを設定する

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にします。10 分間隔で最大 90 分まで設定できます。

再生中に [SLEEP] を押して、設定時間を選ぶ。
- ボタンを押して設定時間を選択する。
- 約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

❑スリープタイマーを解除するには

[SLEEP] を押して "SLEEP ▶ OFF" を選ぶか、**ON/STANDBY** を押す。

❑スリープタイマーが動作するまでの時間を確認するには

[SLEEP] を押す。

ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] を押す。

100% → 75% → 50% → 25% → Off → 100%

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

"Off" 設定時、ボタン操作を行うと、一時的に 25％の明るさで点灯します。

ヘッドホンで聴く

<PHONES> 端子にヘッドホン（別売り）プラグを差し込む。
- 自動的にスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

CD の再生

ここでは、CD の再生方法を説明します。

CD を再生する前に

1 **ON/STANDBY を押す。**

2 **<INPUT> を押して ◁▷ で " " を選ぶ、または [DISC] を押す。**
読み込むディスクがない時は、"No Disc" を表示します。

3 **ディスクをディスクトレイに入れます（☞3 ページ）。**
- **<⏏>** を押してディスクトレイを開閉します。
- **▶/❚❚** を押すとディスクトレイは閉じます。

ご注意
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

CD を再生する

▶/❚❚ を押す
"▶" インジケーターが点灯し、再生を始めます。

- ソースが " " 以外のときに **[DISC]** を押すと、入力ソースが "DISC" に切り替わります。
- また、**<INPUT>** で入力ソースを " " に切り替えることができます。（☞12 ページ）

❑再生を停止するには

■ を押す。

❑再生を一時停止するには

▶/❚❚ を押す。
❚❚ 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、**▶/❚❚** を押してください。

❑早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に、**[◀◀、▶▶]** を長押しする。

❑頭出し（スキップ）をするには

再生中に、**⏮、⏭** を押す。
- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❑好きな曲を聞くには（リモコンのみ）

[NUMBER]（**0**～**9**、**+10**）で番号を選ぶ。
【 例 】4 曲目　: **[4]**
【 例 】12 曲目 : **[+10]**、**[2]**
【 例 】20 曲目 : **[+10]**、**[+10]**、**[0]**

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押す。
それぞれのくり返し再生を始めます。

1 曲リピート → 全曲リピート → リピートオフ（表示消灯） → 1 曲リピート

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	全曲をくり返して再生します。
リピートオフ（表示消灯）	通常の再生に戻ります。

順不同に再生する（ランダム再生）

1 **停止中に [RANDOM] を押す。**
" " を表示します。

2 **▶/❚❚ を押す。**
順不同に再生を始めます。

ランダム再生中に **[REPEAT]** を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意

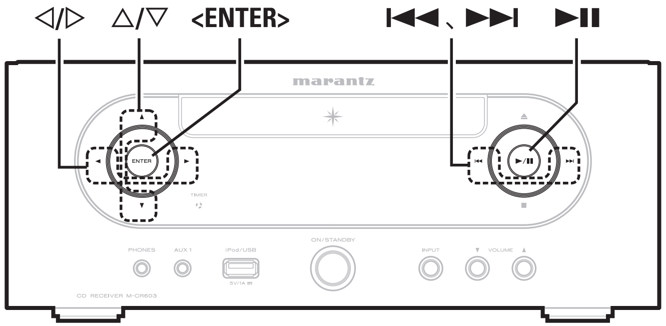
再生中にランダム再生の設定および解除はできません。

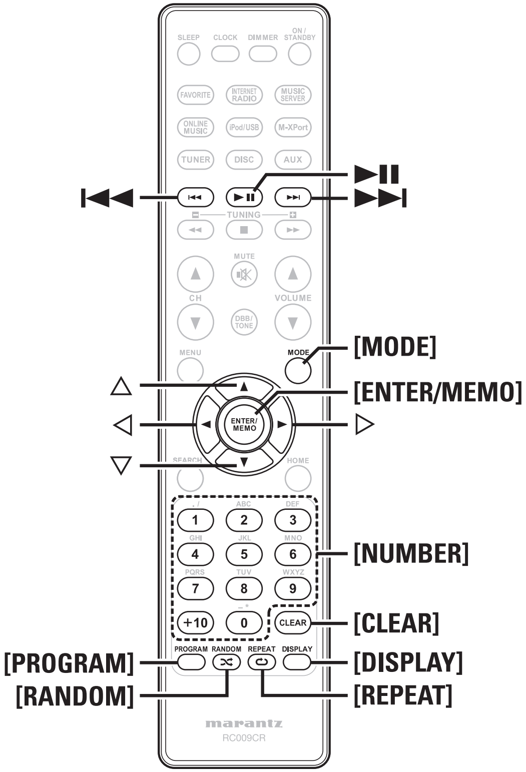
❑ランダム再生を解除するには

停止中に **[RANDOM]** を押す。
" " が消灯します。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]





好きな順に再生する（プログラム再生）

最大 25 曲までプログラムできます。

1 **停止中に [PROGRAM] を押す。**
“Program”を表示します。

2 **[NUMBER]（0 ～ 9、+10）を押して、曲番を選ぶ。**

【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：
[PROGRAM]、**[3]**、**[+10]**、**[2]**、**[7]** と押す。

3 **▶/⏸ を押す。**
プログラムした順に再生を始めます。

❑プログラムした曲順を確認するには

停止中に ⏭ を押す。
押すたびに、プログラムした順に曲番を表示します。

❑プログラムした最後の曲を取り消すには

停止中に **[CLEAR]** を押す。
押すたびに、プログラムの最後の曲を取り消します。

❑プログラムした 1 曲のみを取り消すには

停止中に ⏭ を押して、取り消したい曲を選び、**[CLEAR]** を押す。

❑プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **[PROGRAM]** を押す。

- プログラム再生中に **[REPEAT]** を押すと、プログラムした曲順に再生を繰り返します。
- プログラム再生中に **[RANDOM]** を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- ディスクトレイを開けたり、電源を切るとプログラムを解除します。

ディスプレイ表示を切り替える

[DISPLAY] を押す。

再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 → 残り全曲の残り時間 → （再生曲の経過時間に戻る）

- ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。

MP3 と WMA ファイルの再生

ここでは、CD-R または CD-RW に記録している MP3 と WMA ファイルの再生のしかたを説明します。CD-R または CD-RW 以外のメディアに記録しているファイルの再生は以下のページをご覧ください。

- ❑ **ポータブルプレーヤーの再生（☞22 ページ）**
- ❑ **USB メモリーの再生（☞19 ページ）**
- ❑ **iPod® の再生（☞18 ページ）**
- ❑ **MP3 と WMA のフォーマットについて（☞40 ページ）**

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 **MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを記録している CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる**（☞3 ページ）。

2 **[MODE] でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。**

フォルダモード ←→ ディスクモード

【表示について】
フォルダモードのとき ……… “▯” 表示点灯
ディスクモードのとき ……… “▯” 表示消灯

フォルダモード	選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
ディスクモード	選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 **△▽ を押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **9、8 または 0 1 を押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **1/3, [ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

❏再生中にフォルダやファイルを変えるには

フォルダ

△▽ でフォルダを選び、**[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押す。

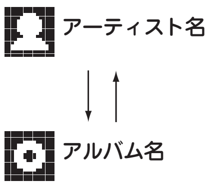
ファイル

◁ ▷ でファイルを選び、**[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押す。
または **9**、**8** でファイルを選ぶか、**[NUMBER]**（**0**～**9**、**+10**）でファイル番号を選ぶ。
- 本機はディスク読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 書き込み用のアプリケーションソフトによっては、正しく書き込みができないものがあります。
- ディスクの記録状態によっては、正しく再生できないものがあります。

❏表示を切り替えるには

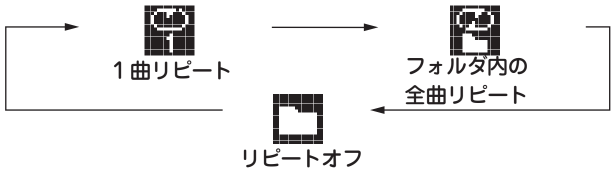
再生中に **[DISPLAY]** を押す。



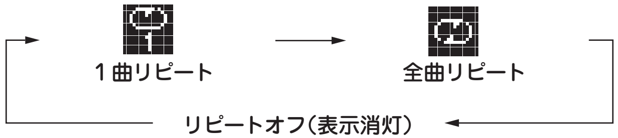
❏リピート再生するには

[REPEAT] を押す。
それぞれのくり返し再生を始めます。
- “フォルダモード” および“ディスクモード” では選択できるリピートモードが異なります。

“フォルダモード”のとき：



“ディスクモード”のとき：



【選択できる項目】
“フォルダモード”のとき：

- 選択した曲のみくり返し再生します。
- 選択したフォルダ内の全てのファイルをくり返し再生します。
- フォルダ内のファイルの再生を再開します。

“ディスクモード”のとき：
「くり返し再生する（リピート再生）」（v13 ページ）

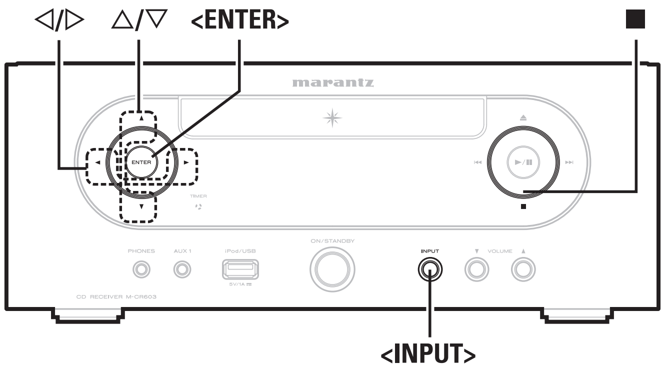
❏ランダム再生するには

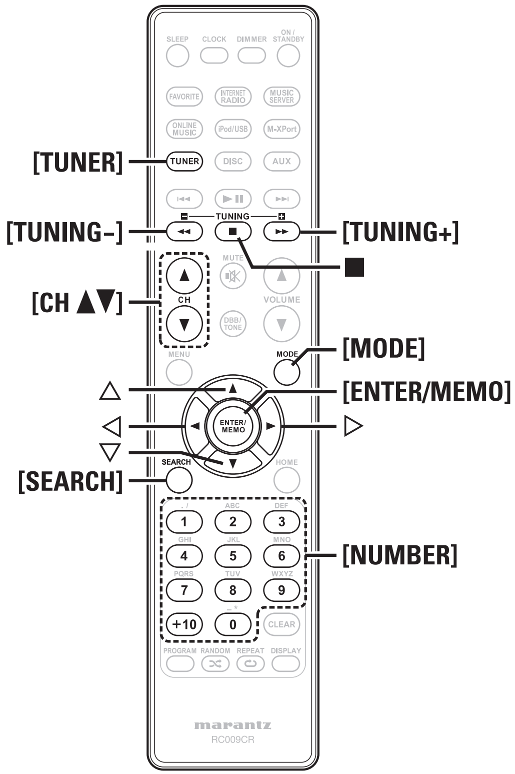
「順不同に再生する（ランダム再生）」（v13 ページ）

MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → **BUTTON**
本体のみにあるもの → **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの → **[BUTTON]**





チューナーを聴く

放送局を受信する

あらかじめアンテナを接続してください（☞7 ページ）。

1 **[TUNER] を押して、受信バンドを選ぶ。**

AM ←→ FM

2 **聴きたい放送局の周波数にあわせます。（FM/AM のみ）**

受信すると、" " 表示が点灯します。

① **オートチューニング（自動選局）**
[MODE] を押して、ディスプレイの"AUTO" 表示を点灯させ、**[TUNING –, TUNING +]** を押して聴きたい放送局を選ぶ。

② **マニュアルチューニング（手動選局）**
[MODE] を押して、ディスプレイの"AUTO" 表示を消灯させ、**[TUNING –, TUNING +]** を押して聴きたい放送局を選ぶ。

- ソースが"TUNER" 以外のときに **[TUNER]** を押すと"TUNER" に切り替わります。
- **<INPUT>** と ◁▷ でソースを"FM" または"AM" を選択することもできます。
- オートチューニングで聴きたい放送局を受信できない場合は、マニュアルチューニングで放送局を受信してください。
- マニュアルチューニング中に **[TUNING –, TUNING +]** を押し続けると、連続的に受信周波数が変わります。
- AM 放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、"ピー"という雑音が入る場合があります。この場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

❑オートチューニングを停止するには

[TUNING –、TUNING +] を押す。

FM 放送局を自動的にプリセットする（オートプリセット）

最大 99 局プリセットできます。

ご注意

AM 放送局はオートプリセットできません。

❑リモコンでのオートプリセットのしかた

この操作は FM 放送局の受信中におこなってください。

1 **[SEARCH] を押す。**

2 **△▽ で"Auto Preset"-"Start"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

"Searching" を表示した後に、"Complete" を表示します。

オートプリセットを途中で止めるには

■ を押す。

アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。
このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。

ご注意

すでにプリセットしてある番号にプリセットすると、古いプリセット内容は消去されて、新しい内容がプリセットされます。

❑プリセットしたチャンネルに放送局名を付ける

最大 8 文字まで入力できます。

1 **名前を付けるプリセットチャンネルを受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] または <ENTER> を長押しする。**

ディスプレイが放送局名入力表示になります。

3 **放送局名を入力する。**

「文字入力について」（☞35 ページ）

4 **[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

文字の入力を確定します。

- 続けてプリセットをおこなうときは、手順 1 ～ 4 をくり返してください。

FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

FM/AM 合わせて最大 99 局までプリセットできます。

1 **プリセットする放送局を受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**
“Preset”メニューが表示されます。

3 **△▽ で“Add to Preset”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **△▽ プリセットする番号を選び、[ENTER/MEMO] を押す。**
受信周波数と受信モードをプリセットし、ディスプレイが放送局名入力表示になります。

5 **放送局名を入力する。**
「文字入力について」（☞35 ページ）
- 放送局名を入れないときは、何も入力せず **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押してください。
- 間違えて入力したときは、再度おこなってください。上書きします。

6 **[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**
文字の入力を確定します。
- 続けてプリセットをおこなうときは、手順 1～5 をくり返してください。

プリセットした放送局を聴く

[NUMBER]（0～9、+10）または [CH ▲▼] でプリセット番号を選ぶ。

プリセットリストに登録した放送局の呼び出し

1 **[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**
“Preset”メニューが表示されます。

2 **△▽ で“Call Preset”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
プリセットリストが表示されます。

3 **△▽ でプリセットリストを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

プリセットリストに登録した放送局の削除

1 **[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**
“Preset”メニューが表示されます。

2 **△▽ で“Delete Preset”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
プリセットリストが表示されます。

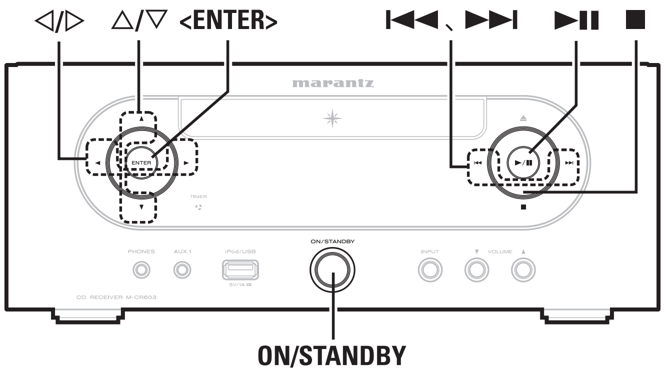
3 **△▽ でプリセットリストを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

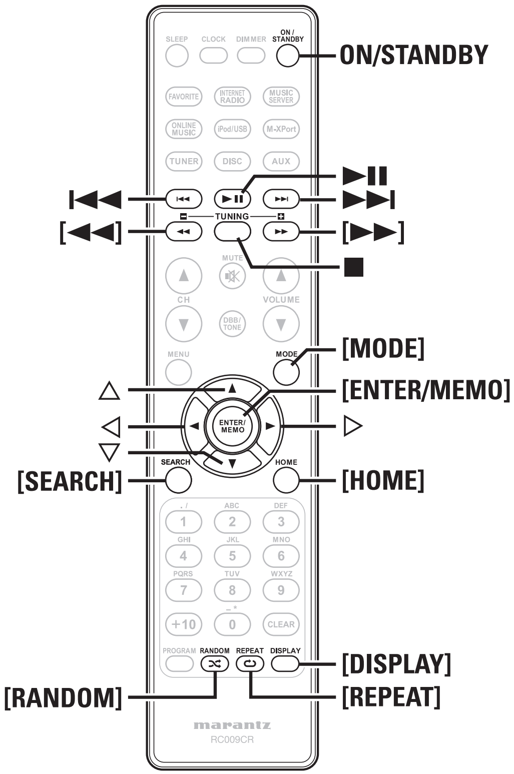
4 **“Delete?”と表示されたら、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

- 操作を中止する場合は、◁ を押してください。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]





iPod® の再生

本機で iPod の音楽を楽しむことができます。
また、本機またはリモコンで iPod を操作することもできます。
本機が対応しているiPodのモデルは「iPodを接続する」（☞9ページ）をご覧ください。

❑ iPod® (☞40 ページ)

USB または iPod を再生する前に

1 **ON/STANDBY を押す。**

2 **USB メモリーまたは iPod ケーブルを接続する。**
USB メモリーまたは iPod を本機の USB ポートに接続すると、ソースが自動的に“iPod/USB” に切り替わり、ファイルの再生を始めます。

ご注意

この機能は本機の電源をオンにしてから 1～2 分後に有効になります。

iPod を再生する

1 **[MODE] を押して表示モードを選択します。**
ボタンを押すごとにモードを切り替えます。

• iPod のデータを表示するモードは 2 つあります。

リモートモード	iPod の情報を本機に表示させて操作するモードです。
ダイレクトモード	iPod に表示される画面を見ながら、直接 iPod 本体を操作するモードです。

• 本機のディスプレイに“Direct iPod”を表示します。

選択できるモード		リモートモード	ダイレクトモード
表示する場所		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	✓	✓
	動画ファイル		✓
操作できるボタン	本機とリモコン	✓	✓
	iPod®		✓

お買い上げ時の設定はダイレクトモードです。

2 **△▽ を押して項目を選び、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押して再生したいファイルを選ぶ。**

3 **▶/II を押す。**
再生を始めます。

ご注意

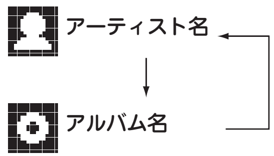
• 本機のダイレクトモードは、iPod nano 1G および iPod video には対応していません。
• 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
• iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

❑リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶II	▶II	再生 / 一時停止
⏮、⏭	⏮、⏭	オートサーチ（頭出し）
◀◀、▶▶（長押し）	⏮、⏭（長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△、▽	クリックホイール	カーソル上下
ENTER/MEMO または ▷	セレクト	設定の確定 / 再生
MODE	–	ダイレクトモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	–	リピート再生
RANDOM	–	シャッフル再生
◁	MENU	メニューの呼び出し / メニューのリターン
■	–	停止
HOME	–	トップメニューに戻る（リモートモードのみ）

❑本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **[DISPLAY]** を押す。
ボタンを押すたびに、切り替わります。



iPod を取り外す

1 **ON/STANDBY を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 **USB ポートから iPod ケーブルを抜く。**

USB メモリーの再生

本機は USB メモリーに保存している音楽やファイルを再生します。

❏ USB メモリーについて（☞40 ページ）

USB メモリーを再生する

1 **再生の準備をする（☞18 ページ「USB または iPod を再生する前に」）。**

2 **△▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ を押してファイルを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER>、▷ または ▶II を押す。**
再生をはじめます。

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- 本機で対応している MP3 ファイルの規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。

ご注意

- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。

❏USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	本機の動作
▶II	再生 / 一時停止
I◀◀, ▶▶I	オートサーチ（頭出し）
△, ▽	カーソル上下
ENTER/MEMO または ▷	設定の確定 / 再生
REPEAT	リピート再生
◁	メニューの呼び出し / メニューのリターン
■	停止
SEARCH	キャラクターサーチ ＊
HOME	トップメニューに戻る

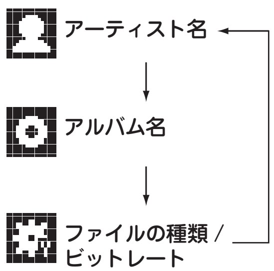
•「くり返し再生する（リピート再生）」（☞13 ページ）

＊**[SEARCH]** を押して、◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。

リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

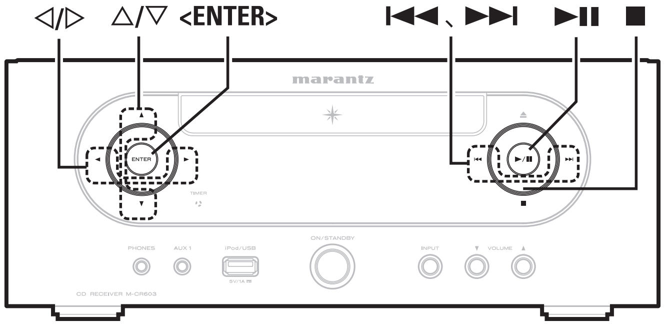
❏表示を切り替えるには

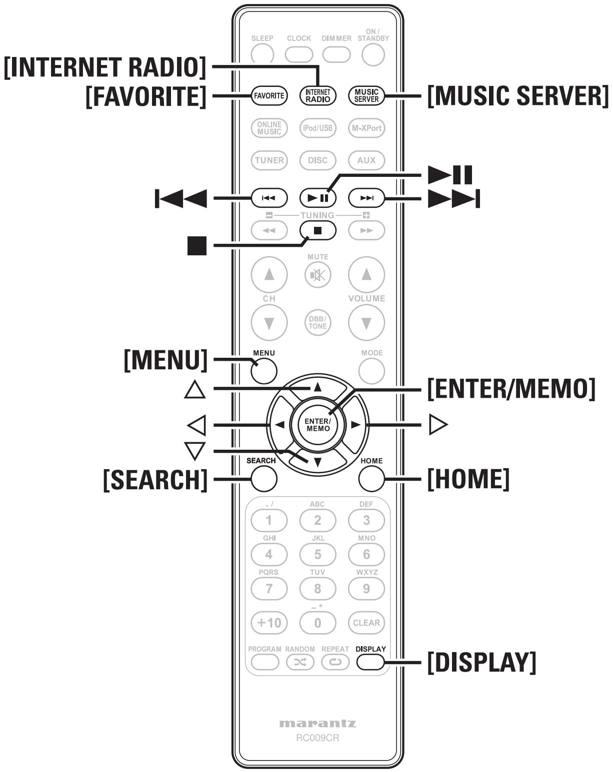
再生中に [DISPLAY] を押す。



取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの	BUTTON
本体のみにあるもの	<BUTTON>
リモコンのみにあるもの	[BUTTON]





ネットワークオーディオを再生する

インターネットラジオやパソコンに保存されている音楽ファイルを再生することができます。

❑ **インターネットラジオ機能について（☞41 ページ）**
❑ **ミュージックサーバー機能について（☞41 ページ）**

インターネットラジオを聴く

1 **再生の準備をする。**
① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる（☞11ページ「電源を入れる」）。
② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定［Network］」（☞28ページ））をおこなう。

2 **[INTERNET RADIO] を押す。**

3 **△▽ を押して再生したい項目を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **放送局リストが表示されるまで、手順 3 をくり返す。**
放送局リストを表示します。

5 **△▽ を押して放送局を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
バッファリングが“100％”表示になると、再生がはじまります。

- インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低様々なものがあります。
  一般的に、ビットレートが高いほど高音質になりますが、通信回数やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。
- 放送局が混雑している場合や放送されていないときには、“Server Full”または“Connection Down”を表示します。
- 本機ではフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。
- **[DISPLAY]** を押すと、ファイルの種類 / ビットレートおよび放送局名を確認できます。

❑表示を切り替えるには

1 **インターネットラジオ受信中に [DISPLAY] を押す。**

2 **放送局の情報や信号フォーマットビットレートを表示します。**

❑最近再生したインターネットラジオ局を選ぶとき

“Recently Played” から、最近再生したインターネットラジオ局を選ぶことができます。
最大20局まで“Recently Played”へ自動的に記憶されます。

1 **△▽ を押して “Recently Played” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

2 **△▽ を押して再生したい項目を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

❑キーワードでインターネットラジオ局を検索する

1 **△▽ を押して“Search by Keyword” を選び、<ENTER> または ▷ を押す。**

- 文字の入力方法については、35 ページをご覧ください。

2 **文字を入力して、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

❑インターネットラジオ局をお気に入りリストに登録する

お気に入りの放送局はお気に入りリストに登録することができます。（☞23 ページ）

❑インターネットラジオ受信時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MENU	メニュー
△▽◁▷	カーソル操作
ENTER/MEMO	確定
SEARCH	キャラクターサーチ *
HOME	トップページに戻る
■	停止
FAVORITE	お気に入りリストに好きな放送局の登録、呼び出し、List からの削除

＊ **[SEARCH]** を押して、◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。

リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

パソコンに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルおよびプレイリストを再生できます。

1 **再生の準備をする。**

① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる（☞11ページ「電源を入れる」）。
② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定［Network］」（☞28ページ）をおこなう。
③ パソコンの準備をする（☞パソコンの取扱説明書）。

2 **[MUSIC SERVER] を押す。**

3 **△▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **△▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

5 **ファイルが表示されるまで、手順 4 をくり返す。**

6 **△▽ を押してファイルを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

バッファリングが“100％”表示になると、再生がはじまります。

- 音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です（☞8 ページ）。
- あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定してください。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。
- Windows Media Player（バージョン 11）などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Lossless ファイルを再生できます。
- **[DISPLAY]** を押すと、ファイルの種類 / ビットレート、アーティスト名およびアルバム名を確認できます。

❑プリセットやお気に入りに登録して再生する

音楽ファイルについてもインターネットラジオと同様の操作で、プリセットやお気に入りに登録して再生することができます（☞23 ページ）。

ご注意

- すでにプリセットされている番号に登録すると、前に登録されていた内容は消去されます。
- 下記の操作をおこなうと、ミュージックサーバーのデータベースが更新され、プリセットやお気に入りに登録した音楽ファイルが再生できなくなる場合があります。
  - ミュージックサーバーを停止し、再起動した場合
  - ミュージックサーバーで音楽ファイルを削除または追加した場合
- ESCIENT サーバーを使用するときは、サーバー名の前に“ESCIENT”を入れてください。
- プリセット登録はできません。

❑ミュージックサーバーに使用できるボタン

操作ボタン	機能
MENU	メニュー
△▽◁▷	カーソル操作 / オートサーチ（頭出し、△▽）
ENTER/MEMO	確定
SEARCH	キャラクターサーチ *1
HOME	トップページへ戻る
▶❙❙	再生 / 一時停止
◀◀◀ ▶▶▶	オートサーチ（頭出し）
■	停止
FAVORITE	お気に入りリストに好きな放送局の登録、呼び出し、List からの削除

- **「くり返し再生する（リピート再生）」**（☞13 ページ）
- **「順不同に再生する（ランダム再生）」**（☞13 ページ）*2

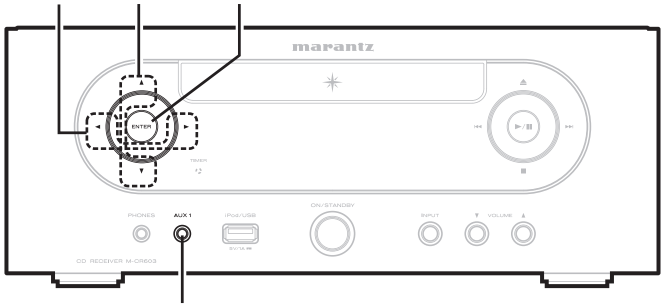
＊1 **[SEARCH]** を押して、◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。
＊2 パソコンに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにすべての曲からランダム再生する曲を選びます。そのため、同じ曲を続けて再生する場合があります。

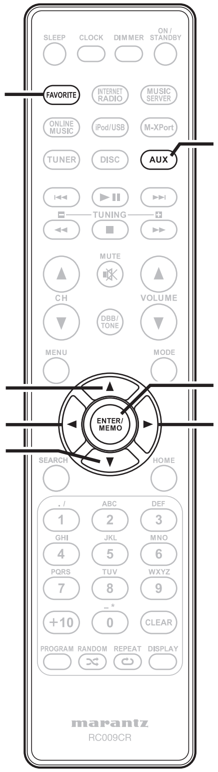
リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

ご使用になる前に
接続
基本操作
応用操作
情報
用語の解説
故障かな？と思ったら
保障と修理について
主な仕様
索引

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの	BUTTON
本体のみにあるもの	<BUTTON>
リモコンのみにあるもの	[BUTTON]





ポータブルプレーヤーの再生

本機のポータブルジャックにポータブルプレーヤーを接続することで、ポータブルプレーヤーの音楽を再生できます。

ポータブルプレーヤーを再生する

1 **ポータブルプレーヤーを <AUX 1> に接続する。**
（☞10 ページ「ポータブルプレーヤーを接続する」）
ソースが自動的に“AUX1”に切り替わります。

2 **ポータブルプレーヤーを再生する。**
ポータブルプレーヤーの音楽を出力します。
- ポータブルプレーヤーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

ポータブルプレーヤーのヘッドホン端子を使用するときは、ポータブルプレーヤー機器側の音量を適度に上げてください。

AUX 入力端子に接続したオーディオ機器の再生

1 **再生の準備をする。**
接続を確認して、本機の電源を入れてください。

2 **[AUX] を押して“AUX2”、“AUX3” または“AUX4” を選びます。**

→ AUX1 → AUX2 → AUX3 → AUX4 (OPT) ─┘

3 **本機に接続した機器を再生する。**

お気に入り機能

ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聞くことができる機能です。
- 登録、呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、ミュージックサーバー、チューナーです。
- お気に入りリストには最大 50 個の登録が可能です。
- 51 番目に登録すると一番下の放送局（最もアクセスしていない放送局）が削除されます。
- リストから放送局を選択するとリストの先頭に移動します。

インターネットラジオ、ミュージックサーバー、チューナーをお気に入りリストに登録する

1 **登録したい放送局やファイルを再生中に [FAVORITE] を押す。**
“Favorite” メニューを表示します。

2 **△▽ を押して“Add to Favorite”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
登録すると “Add to Favorite” を表示します。

お気に入りリストに登録したインターネットラジオ、ファイル、チューナーを呼び出す

1 **[FAVORITE] を押す。**
“Favorite” メニューを表示します。

2 **△▽ を押して“Call Favorite”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
お気に入りリストを表示します。

3 **△▽ を押してお気に入りリストを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
各ソースに移行して、再生が始まります。

お気に入りリスト登録したインターネットラジオ、ファイル、チューナーを削除する

1 **[FAVORITE] を押す。**
“Favorite” メニューを表示します。

2 **△▽ を押して“Delete Favorite”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
お気に入りリストを表示します。

3 **△▽ を押してお気に入りリストを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **“Delete?” が表示されたら [ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

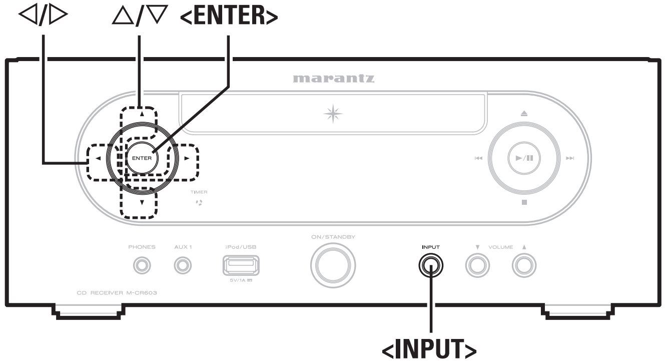
- ◁ を押すとキャンセルできます。

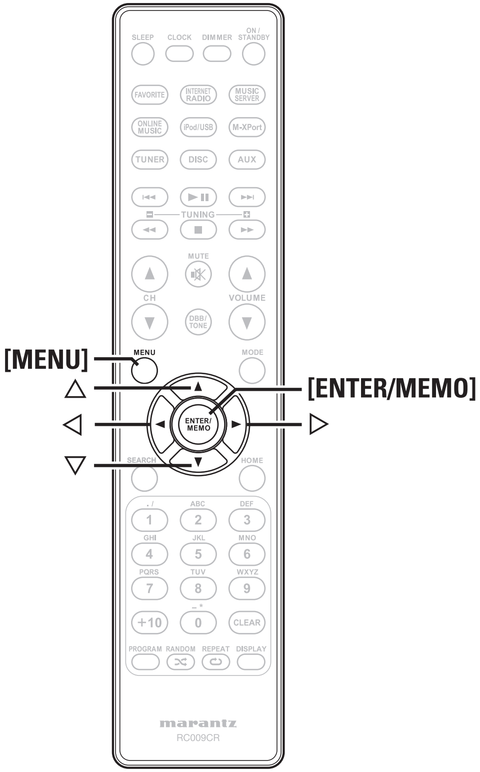
メニューマップ

設定項目	詳細項目		説明	ページ
Timer 	Once	Set Time (hh:mm)	指定した時刻に起動する Once Timer の設定を行います。	26
		Source (xxx)	指定した時刻に起動する Once Timer のソース設定を行います。	26
		Volume (xx)	指定した時刻に起動する Once Timer の音量設定を行います。	26
	Everyday	Set Time (hh:mm)	毎日起動する Everyday Timer の設定を行います。	26
		Source (xxx)	毎日起動する Everyday Timer のソース設定を行います。	26
		Volume (xx)	毎日起動する Everyday Timer の音量設定を行います。	26
Clock 	Auto Adjust		ネットワーク上の時刻情報から自動で時計を設定します。	11
		Time Zone	(自動設定のために)お住まいの地域(Zone)情報を設定します。	27
		Summer Time	(自動設定のために)サマータイム情報を設定します。	27
		Adjust Now	時刻情報を取得します。	27
	Manual Adjust		手動で時計を設定します。	27
Network 	Connection		有線接続の設定を行います。	28
		DHCP	DHCP の設定を行います。	28
		IP Address	IP アドレスの設定を行います。	28
		Subnet Mask	サブネットマスクの設定を行います。	28
		Gateway	ゲートウェイの設定を行います。	28
		Primary DNS	プライマリ DNS の設定を行います。	28
		Secondary DNS	セカンダリ DNS の設定を行います。	28
		Proxy	プロキシの設定を行います。	28
		Connection	接続テストを行います。	28
	Party Mode		パーティーモードを開始/終了します。	29
		Party Mode Function	パーティーモードの有効/無効を設定します。	29
		Party Start Level	パーティーモードのボリュームを設定します。	30
	Other Network		ネットワークのその他の設定を行います。	31
		Network Standby	スタンバイ時にネットワーク機能を有効にします。	31
		PC Language	ネットワーク上で表示される言語を設定します。	31
		Friendly Name Edit	ネットワーク上に表示される名前を編集します。	31
		Zone Management	同じネットワークに接続されている機器の状態を、最大 10 台まで表示し、操作します。	31
		Update Notification	アップデートの通知のオン/オフを設定します。	31
		Upgrade Notification	アップグレードの通知のオン/オフを設定します。	31
	Network Info.		ネットワークの各種設定値を表示します。	–
Other 	Auto Standby		未使用時に自動的にスタンバイにします。	32
	Screen Saver		スクリーンセーバーを起動します。	32
	Speaker Setup		スピーカーの設定を行います。	33
		Speaker Select	出力するスピーカーを選択します。	33
		Response	出力の周波数特性を設定します。	34
		Vol. Offset	スピーカー A を基準にしたときのスピーカー B のボリューム補正を行います。	34
	IR Setting		リモコン受信を無効にします。	25
	Firmware Update		ファームウェアのアップデートを開始します。	32
	Add New Feature		本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	33

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]

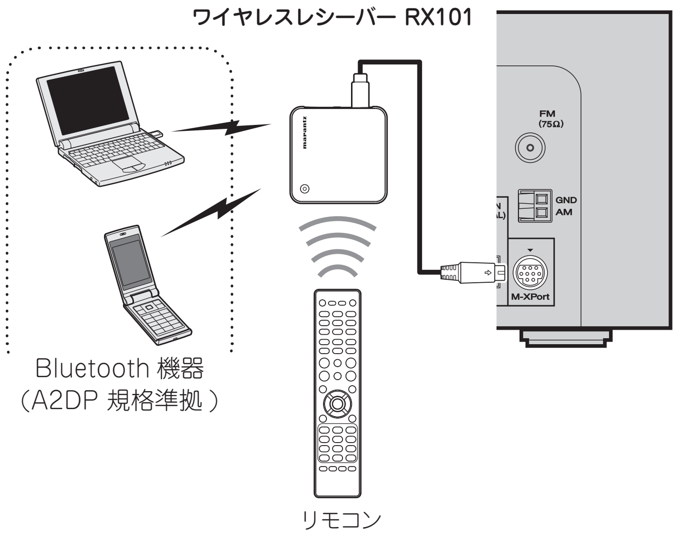




ワイヤレスレシーバー（RX101）を接続する

本機にワイヤレスレシーバーRX101（別売り）を接続すると、Bluetooth 通信機能により、本機は他の機器の音声信号を受信して再生します。

- A2DP 規格に準拠した Bluetooth 機器をお使いください（☞42 ページ「A2DP 規格」）。
- ワイヤレスレシーバーRX101 は外部の赤外線受光器としても使用することができます。
- ワイヤレスレシーバー側の設定も必要です。詳しくは、ワイヤレスレシーバーRX101 の取扱説明書をご覧ください。



✎

M-XPort に RX101 を接続すると、入力ソースが自動的に M-XPort に切り替わります。

リモートコントロール接続

本機と接続した RX101 のリモートセンサーを使って本機を操作することができます。

ご注意

このリモートコントロール接続を行う場合、RX101 の IR スイッチは ON にしてください。

リモートコントロールの設定

1 **<INPUT> を押して ◁▷ で“ ”選ぶ、または [MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

2 **△▽ を押して“Other” - “IR Setting” - “Disable” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

✎

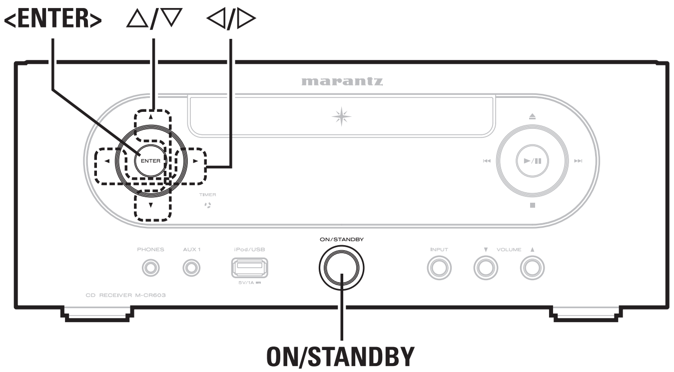
もとの設定に戻すには、手順 1 と 2 の操作で“Enable” を選び、**<ENTER>** を押します。

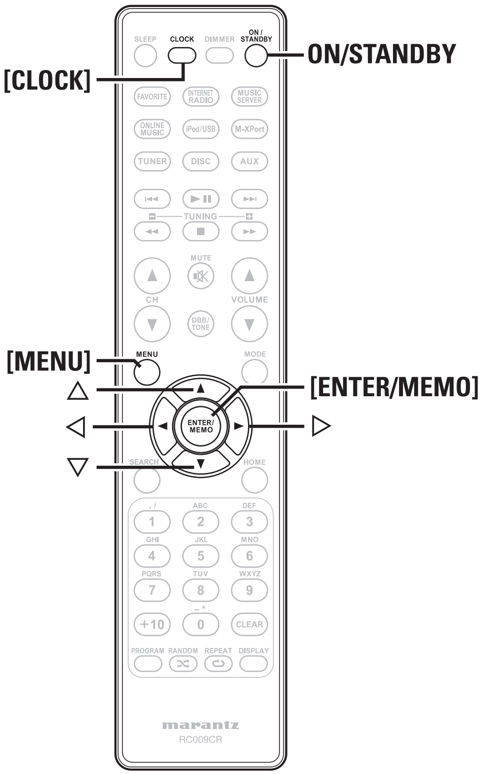
ご注意

“Disable”に設定しているときは、本機をリモコンで操作できません。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]





タイマー設定 [Timer]

本機では、タイマー再生（エブリディタイマー、ワンスタイマー）、スリープタイマー再生をおこなえます。

- 本機のタイマーは、タイマー再生の終了時刻設定には対応していません。

❑各タイマーの設定時刻が重複している場合のタイマー動作について

ワンスタイマーとエブリディタイマーを重複して設定している場合（スリープタイマーを設定していない場合）

- 開始時刻を早く設定しているタイマーの開始時刻で開始します。

現在時刻が未設定のときにタイマー設定モードに入ると、時刻設定モードになります。

タイマーを設定するとディスプレイに“⏲”の表示が点灯します。

タイマーを設定する

- **エブリディタイマー（“Everyday”）**
  毎日設定した時刻に、再生をおこないます。
- **ワンスタイマー（“Once”）**
  1 回のみ、設定した時刻に再生をおこないます。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で“Timer”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ でタイマーモードを選び、または ◁ ▷ で“On”か“Off”を選んで [ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

4 **△▽ で“Set Time” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

5 **△▽ でタイマー開始時刻の“hours”-“minutes”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

6 **△▽ で“Source”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

7 **△▽ で入力ソースを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

→ Favorite → Preset → DISC → iPod/USB →

8 **△▽ で“Volume” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

9 **△▽ で音量の“0-60”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

10 **ON/STANDBY を押して電源をスタンバイにする。**
タイマースタンバイモードになり、タイマーインジケーターが赤色に点灯します。
スタンバイモード時に現在時刻表示にすると、タイマーインジケーターは消灯します。

ご注意

- タイマーを On にして本体およびリモコンの無操作状態が 90 分続くと、スタンバイモードになります。
- iPod touch や iPhone のタイマー再生をおこなうときは、iPod touch または iPhone は“Sleep”モードにしてください。電源オフの操作によって電源オフにするとタイマー再生ができません。
  iPod touch や iPhone の“Sleep”モードについてはそれぞれの取扱説明書やウェブサイトをご覧ください。

❑タイマーのオン / オフを設定するには

「タイマー設定 [Timer]」（☞26ページ）の操作をおこなってください。

- “OFF”にすると、タイマー動作が無効になりますが、タイマーの設定内容はそのまま残ります。

❑タイマー設定の内容を確認するには

「タイマー設定 [Timer]」（☞26ページ）の操作をおこなってください。

❑タイマー設定の内容を変更するには

「タイマー設定 [Timer]」（☞26ページ）の操作をおこなってください。

❑タイマー設定中に設定を変更するには

◁ を押す。
ひとつ前の設定に戻ります。変更したい設定を表示させてから、設定をおこなってください。

自動時刻合わせ [Clock]

この機器はインターネットを利用し自動で時刻合わせを行うことができます。

この機能を使うにはインターネットに接続する必要があります。

標準時刻の設定

あなたの住んでいる地域の標準時刻（time zone）に合わせてください。

- 日本にお住まいの場合、“Time Zone”および“Summer Time”の設定は不要です。お買い上げ時のままでお使いください。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で“Clock”-“Auto Adjust” -“Time Zone”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“Time Zone”メニューを表示します。

3 **△▽ であなたの住んでいる地域の標準時刻を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す**
設定が確定します。

自動時刻合わせ

自動時刻合わせを行います。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で“Clock”-“Auto Adjust” -“Adjust Now”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
時刻の取得を始めます。

- 時刻取得が成功した場合、数秒間時刻が表示されます。
- 自動時刻取得が失敗した場合、“Connection Failed”と表示されます。

現在時刻の合わせかた（手動）（24 時間表示）

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ を押して“Clock”-“Manual Adjust” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ を押して、“時”を設定する。**

4 **[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

5 **△▽ を押して、“分”を設定する。**

6 **[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
現在時刻を確定します。

❑電源がオンのときに現在時刻を確認するには

[CLOCK] を押す。
もう一度 **[CLOCK]** を押すと、通常の表示に戻ります。

❑電源がスタンバイ状態のときに現在時刻を確認するには

[CLOCK] を押す。

- ネットワークスタンバイ（☞31 ページ）を“On”に設定すると、スタンバイ時は現在時刻を表示します。

もう一度 **[CLOCK]** を押すと、現在時刻表示は消えます。

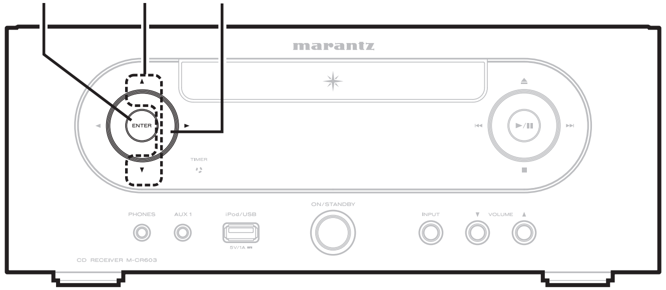
- ネットワークスタンバイを“Off”に設定すると、現在時刻を約 30 秒間表示した後、自動で消えます。

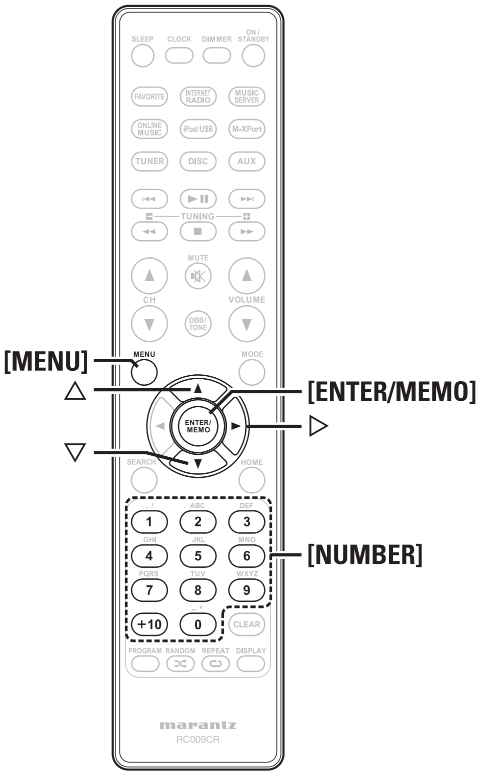
ご注意

- 電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。
- ネットワークスタンバイ時は、消費電力が多くかかります。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]





ネットワークの設定 [Network]

ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、メニューの「ネットワーク接続（DHCP=Off）」（☞28 ページ）で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。

ご注意

手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク接続

1 **イーサーネットワークケーブルを接続する。**
（☞8 ページ「ホームネットワーク（LAN）に接続する」）

2 **本機の電源をオンにする。**
（☞11 ページ「電源を入れる」）

3 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

4 **△▽ で“Network”-“Connection”-“DHCP (Off)”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“DHCP”メニューを表示します。

• このとき、“DHCP (On)”であれば手順 6 へ進んでください。

5 **△▽ で“On”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
• “Connection”メニューを表示します。

6 **△▽ で“Connection”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

接続を開始します。
• 接続が成功すれば“Succeeded”、接続が失敗した場合は“Failed”を表示します。

ご注意

ご利用のプロバイダによっては手動で設定する必要があります。手動で設定する必要のある方は「ネットワーク接続（DHCP=Off）」の手順で設定をおこなってください。

ネットワーク接続（DHCP=Off）

1 **「ネットワーク接続」の手順 1 から 4 をおこない、手順 5 で“Off”を選ぶ。**
“Connection”メニューを表示します。

2 **△▽ で“IP Address”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“IP Address”入力メニューを表示します。

3 **△▽▷ または [NUMBER] (0 – 9) でアドレスを入力し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

4 **同様に Subnet Mask、Gateway、Primary DNS、Secondary DNS にアドレスを入力してください。**

5 **アドレス入力後、「ネットワーク接続」の手順 6 を行って接続してください。**

プロキシの設定

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で“Network”-“Connection”-“Proxy”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“Proxy”設定メニューを表示します。

3 **“Proxy(On)”と表示された場合は手順 5 へ、“Proxy(Off)”と表示された場合は [ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押します。**
“Proxy”(On/Off) 設定メニューが表示されます。

4 **△▽ で“On”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“Proxy”設定メニューを表示します。

5 △▽ で"Proxy(Address)"または"Proxy(Name)"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
"Select Type"設定メニューを表示します。
- Proxy の設定で、server address または domain name を選択します。

6 △▽ で"Address" または"Name" を 選 び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
"Proxy"設定メニューを表示します。

7 △▽ で"Address"または"Name"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
"Address"または"Name"入力メニューを表示します。
- Server address または domain name を入力します。

8 △▽▷ または [NUMBER] (0 – 9) でアドレスまたはドメイン名を入力し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。
"Proxy"設定メニューを表示します。

9 △▽ で"Port"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
"Port"入力メニューを表示します。

10 △▽ ▷ または [NUMBER] (0 – 9) でプロキシサーバーのポート番号を入力し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。
プロキシの設定を終了します。

パーティーモード機能

同じネットワークに接続されているパーティーモード機能を搭載した機器間で、同じネットワークオーディオ（インターネットラジオ、ミュージックサーバーまたは iPod）を同時に楽しむことができます。
パーティーモードは、1 台のオーガナイザー（親機）と最大 4 台のアテンディー（子機）で構成します。
ある 1 台がオーガナイザーとしてパーティーモードを開始すると、パーティーモード機能を有効にしている最大 4 台の機器が自動的にアテンディーとしてそのパーティーに参加することができます。パーティーモード機能を利用するには、あらかじめ"Party Mode Function"を"ON"に設定する必要があります。

❑パーティーモード機能の設定

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

2 △▽ で"Network" – "Party Mode" – "Party Mode Function" を 選 び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
"P-Mode Function"メニューを表示します。

3 △▽ で"On"または"Off"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

On	：パーティーモード機能が有効になります。
Off	：パーティーモード機能が無効になります。

❑オーガナイザー（親機）としてパーティーモードを開始する

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

2 △▽ で"Network" – "Party Mode" – "Start Party"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
- ネットワークに接続していない場合は、エラーメッセージを表示します。
- 入力ソースは自動的に"Music Server"に切り替わり、アテンディー（子機）が自動的に選ばれます。

3 好きな曲を再生する。

パーティーモードを終了するとき

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

2 △▽ で"Stop Party"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
メニュー画面に"Exit Party Mode?"が表示されます。

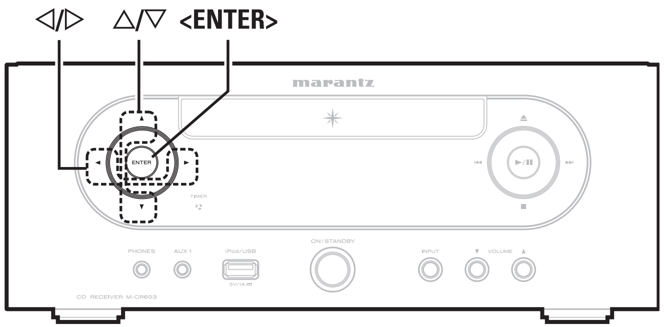
3 △▽ で"Yes"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
"Attendee P.Off?"を表示します。

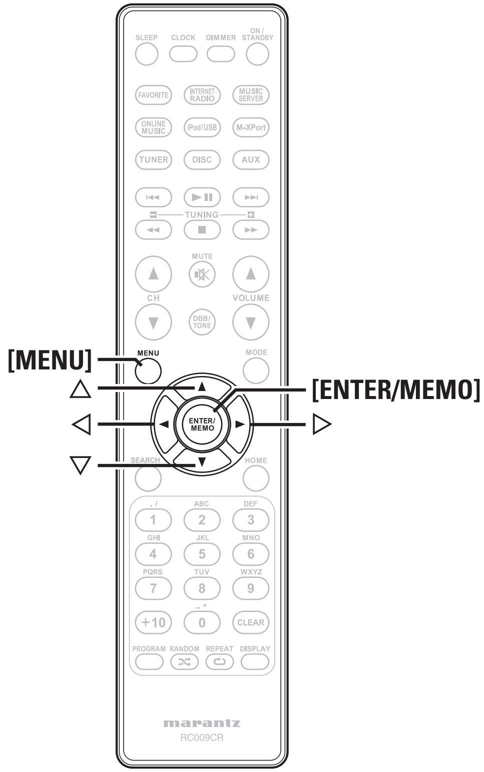
4 △▽ で"Yes" または"No" を 選 び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

Yes	：アテンディー機器の電源を切ってパーティーモードを終了します。
No	：アテンディー機器の電源を切らないでパーティーモードを終了します。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]





❑アテンディー（子機）としてパーティーモードに参加する

- オーガナイザーがパーティーモードを開始すると、自動的に最大 4 台がアテンディーとして選ばれますので、操作は必要ありません。
- アテンディーになると、ディスプレイに **Party Mode Attendee** を表示します。入力ソースは自動的に“Music Server”に切り替わり、オーガナイザーと同じネットワークオーディオの再生を楽しむことができます。
- アテンディーが 4 台に満たない場合は、後からパーティーモードに参加することもできます。パーティーモードに参加する場合は、以下の操作をおこなってください。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

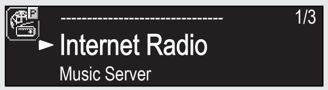
2 **△▽ で“Network” – “Party Mode” – “Start Party”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
- ネットワークに接続していない場合は、エラーメッセージを表示します。

アテンディー（子機）から選曲するとき

パーティーモードを開始すると、アテンディー（子機）のディスプレイに“Party Mode Attendee”を表示後、オーガナイザー（親機）の再生情報を表示します。



1 **◁ を押すと、オーガナイザー（親機）の入力ソースを表示します。**



2 **△▽ を押して入力ソースを切り替え、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ を押して再生したい項目を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

パーティーモードを終了するとき

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

2 **△▽ で“Stop Party”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。“**
メニュー画面に“Exit Party Mode?”が表示されます。

3 **△▽ で“Yes”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
この場合、他の機器のパーティーモードは継続しています。

✎

パーティーモードでは、“USB”のご利用はできません。
同じネットワーク内でオーガナイザーは 1 台のみです。新たにパーティーモードを構成する場合は、一旦パーティーモードを終了してください。

❑パーティースタートレベルの設定

パーティーモードを開始するときの音量レベルを設定します。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞24 ページ「メニューマップ」）

2 **△▽ で“Network” – “Party Mode” – “Party Start Level”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
- **Last**：パーティーモードが開始される前と同じ音量でパーティーモードを開始します。
- **00**：常時消音でパーティーモードを開始します。
- **01 – 60dB**：お好みの音量でパーティーモードを開始します。

✎

パーティースタートレベルはパーティーモード機能がオンのときのみ設定できます。

ネットワークスタンバイの設定

スタンバイ時のネットワーク機能のオン / オフを設定します。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 △▽ で“Network” -“Other Network” - “Network Standby”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
“Network Standby”メニューを表示します。

3 △▽ で“On”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

On : ネットワークの接続が完了するまでの時間が短くなります。
- スタンバイ時の消費電力が多くかかります。

Off : スタンバイ時の消費電力は最少です。
- ネットワークの接続が完了するまでの時間が、やや多くかかります。
- お買い上げ時の設定です。

PC 言語の設定

パソコンの言語を選びます。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 △▽ で“Network”- “Other Network” - “PC Language”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
“PC Language”設定メニューを表示します。

3 △▽ であなたのパソコンの言語を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

フレンドリーネームの編集

フレンドリーネームとは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 △▽ で“Network”- “Other Network” - “Friendly Name Edit”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
“Friendly Name Edit”メニューを表示します。

3 フレンドリーネームの編集を行う。
文字の入力方法は「文字入力について」(☞35 ページ)を参照してください。

ゾーンマネージメント機能

“Zone Management” メニューにある“Device Control” では、手順 3 で選択した機器のネットワーク機能(インターネットラジオなど)の操作を本機からおこなえます。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。

2 △▽ を押して、メニューの“Network” – “Other Network” – “Zone Management”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
- 同じネットワークに接続されている機器の状態を、最大 10 台まで表示します。

3 △▽ を押して機器を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

4 △▽ を押して“Device Control”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
本機のディスプレイに、手順 3 で選択した機器のネットワークメニューを表示します。

5 △▽、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押して、お好みの曲を選ぶ。



- 操作のしかたは、各機能の説明をご覧ください。

✎
ゾーンマネージメント機能は、ゾーンマネージメント機能を搭載している機器との組み合わせでのみおこなえます。

ご注意
選択している機器の音量を本機で調節することはできますが、音量レベルは表示しません。音量の上げすぎにご注意ください。

アップデート通知

“ファームウェアのアップデート” で最新のファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(☞8 ページ)。

On : アップデートの通知を表示します。

Off : アップデートの通知を表示しません。

✎
- 通知メッセージが表示されている間に **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押すと、“Check for Update”画面が表示されます。(“ファームウェアのアップデート”の詳細は、32 ページをご覧ください。)
- 通知メッセージを閉じるには、◁ を押してください。

アップグレード通知

“新機能の追加” でダウンロード可能なファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(☞8 ページ)。

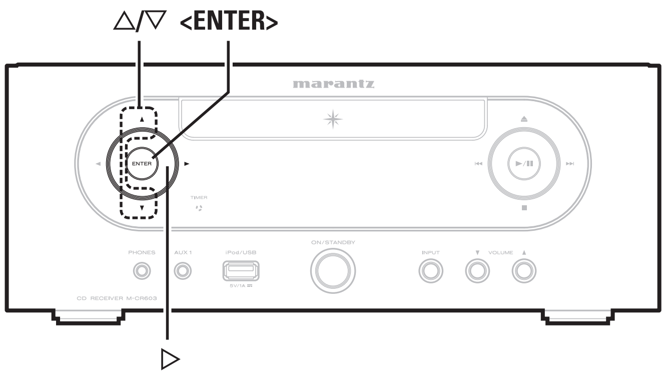
On : アップグレードの通知を表示します。

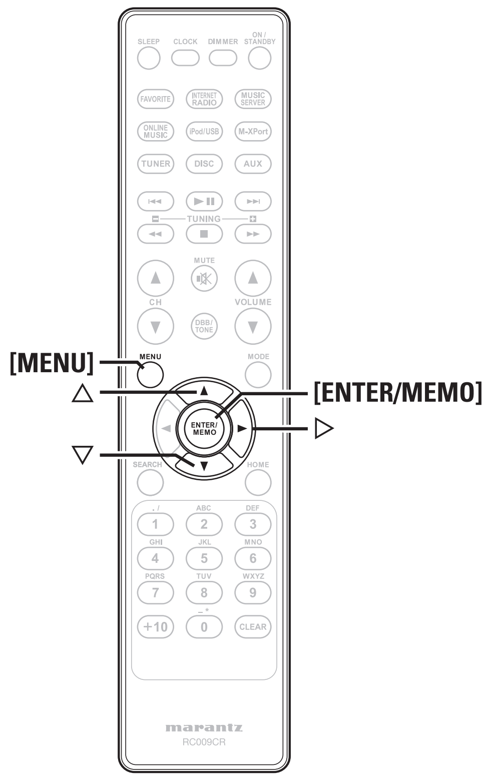
Off : アップグレードの通知を表示しません。

✎
- 通知メッセージが表示されている間に **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押すと、“Add New Feature”画面が表示されます。(“新機能の追加”の詳細は、33 ページをご覧ください。)
- 通知メッセージを閉じるには、◁ を押してください。

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの	BUTTON
本体のみにあるもの	<BUTTON>
リモコンのみにあるもの	[BUTTON]





その他の設定 [Other]

オートスタンバイ

オートスタンバイをオンにして、30 分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。
- お買い上げ時のオートスタンバイ機能の設定はオフです。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 △▽ で“Other” - “Auto Standby” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ ボタンを押す。

3 △▽ で“ON”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
設定が確定します。

ご注意

次のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。
- CD の再生中または一時停止中
- USB 端子に iPod または USB メモリーを接続しているとき。
- ソースが“TUNER”、“AUX2”、“AUX3”のとき
- ソースが“AUX1”で、機器を接続しているとき
- ソースが“M-XPort” で、M-XPort にワイヤレスレシーバー RX101 を接続しているとき
- ソースが“AUX4”で、信号が入力されているとき
- ソースが“INTERNET RADIO” または“MUSIC SERVER” で、イーサーネットケーブルでネットワークに接続されているとき

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定を行います。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 △▽ で“Other” - “Screen Saver” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。
“Screen Saver”メニューを表示します。

3 △▽ で“ON”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

ファームウェアのアップデート

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です（☞8 ページ）。
- ファームウェアアップデートの操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

1 [MENU] を押す。
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞24 ページ「メニューマップ」）。

2 △▽ で“Other” - “Firmware Update” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。

【選択できる項目】

Check for Update	: ファームアップウェアが最新かどうかの確認ができます。また、アップデートする場合のおよそのアップデート時間を確認できます。
Start	: アップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。それでもアップデートできない場合は、下記のいずれかのメッセージがディスプレイに表示されます。このような場合は、設定やネットワーク環境の確認をおこなった上で、再度アップデートしてください。

ディスプレイ表示	説　明
Updating fail	アップデートに失敗しました。
Login failed	サーバーへのログインに失敗しました。
Server is busy	サーバーが混雑しています。しばらく時間をおいてから、やり直してください。
Connection fail	サーバーへの接続に失敗しました。
Download fail	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。

新機能の追加

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です(☞8 ページ)。
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Other”- “Add New Feature” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

【選択できる項目】

Upgrade	:アップグレードを実行します。

- アップグレードができなかった場合は、ディスプレイに“ファームウェアのアップデート” と同様のメッセージが表示されます。この場合は、ネットワーク環境を確認し、再度アップデートしてください。

Upgrade Status	:アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
Upgrade ID	:お手続きの際には、この画面に表示されている ID 番号が必要になります。

✎

アップグレードをご利用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
お手続きが完了すると、このメニューに“Registered” と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“Not Registered”が表示されます。

【“ファームウェアのアップデート”および“新機能の追加”をおこなったときのご注意】

- アップデート / アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデート / アップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデート / アップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。また、本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータが初期化される場合があります。
- アップデートやアップグレード中に更新が失敗した場合は、電源コードを再度挿入し直してください。ディスプレイに“Update Retry” が表示され、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

✎

- “ファームウェアのアップデート” および“新機能の追加” に関する情報は、その計画が明らかになるたびに当社ホームページなどで告知する予定です。
- “ファームウェアのアップデート” や“新機能の追加” で利用可能な新しいファームウェアがリリースされるとメニュー画面に通知メッセージを表示します。表示させたくない場合は、“アップデート通知”(☞31 ページ)および“アップグレード通知”(☞31 ページ)を“Off”に設定してください。

スピーカー出力の設定

本機のスピーカー出力は Speaker A と Speaker B と Bi-Amp があります。出力を切り替えるには、“SPEAKER SETUP” メニューで切り替えます。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Other”- “Speaker Setup” - “Speaker Select” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ でスピーカーの出力を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

Speaker A	スピーカー A 出力端子のみから出力します。
Speaker B	スピーカー B 出力端子のみから出力します。
Bi-Amp	スピーカー A と B の出力端子の両方から同じ信号を出力します。 接続のしかたは次の 2 通りがあります。 • BI-AMP 出力 一組のスピーカーを使って出力します (☞33 ページ「バイアンプ接続で音楽を聴く」)。 • **スピーカー A、B 出力** 二組のスピーカーを使って出力します。

✎

“Bi-amp” に設定した場合、アンプの最大出力は、各チャンネル 50W から 25W に切り替わります。(8 Ω)

ご注意

スピーカーの設定は音量を十分小さくしてから行なってください。

❑バイアンプ接続で音楽を聴く

本機とスピーカーシステムをスピーカーコードを 2 組使って、バイアンプ接続します。
接続する前に、スピーカーシステムがバイアンプ接続に対応していることをご確認ください。

バイアンプとは？

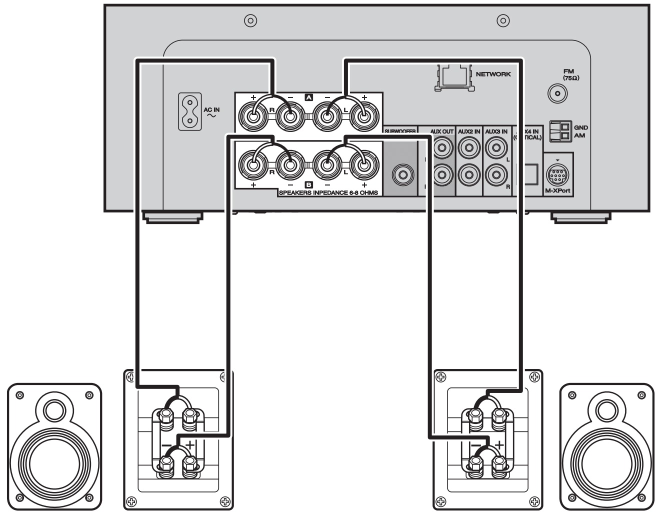
テクニックの一つで、低音用と中高音用の端子に別々のスピーカーコードを接続します。
これにより、低音用スピーカーユニットで発生した逆起電力による中高音への干渉をなくすことができます。

ご注意

バイアンプ接続で音楽を聴くときは、スピーカー A と B のフィルターは同じフィルターを設定してください(「アンプの特性を設定する」(☞34 ページ))。

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、−(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。



スピーカー R ch　　スピーカー L ch

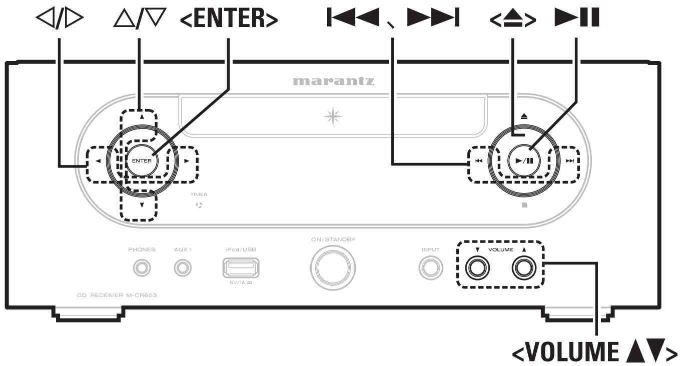
ご注意

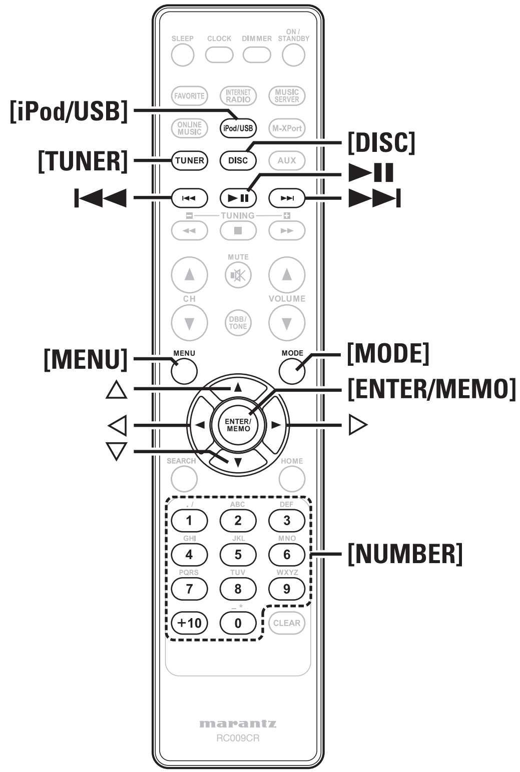
スピーカーの LF と MF/HF を接続してあるショート板は取り外してご使用ください。
取り外さないでご使用になると火災や故障の原因となります。

ご使用になる前に
接続
基本操作
応用操作
情報
用語の解説
故障かな？と思ったら
保障と修理について
主な仕様
索引

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの ——→ **BUTTON**
本体のみにあるもの ——→ **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの ——→ **[BUTTON]**



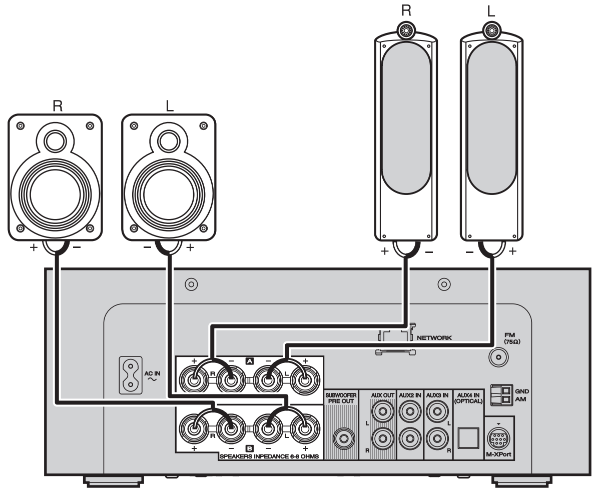


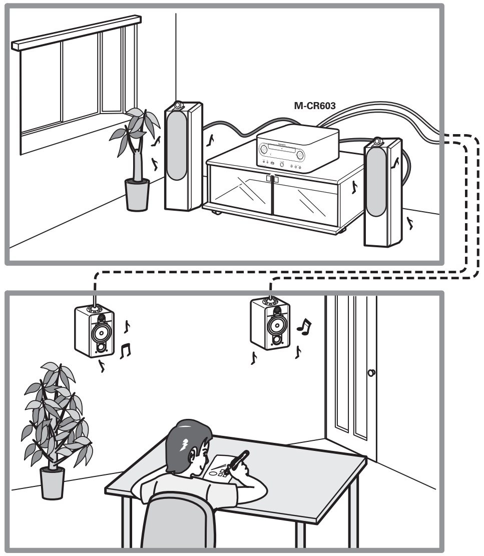
❑マルチドライブ接続をして 2 ヶ所で音楽を聴く

本機とスピーカーシステムを 2 組使って別室で音楽を聴くことができます。

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、−(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。





スピーカー A と B の音量バランスを調整する

スピーカーの音量を固定したまま、スピーカー B の音量を -6 dB〜+6 dB の範囲で調整できます。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で"Other"-"Speaker Setup"-"Volume Offset"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ でボリュームオフセットを調整し、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
[調整範囲]
-6 dB, 0 dB, +6 dB

アンプの特性を設定する

- スピーカーの設置場所に合わせてアンプの特性を変更することができます。
- 5 種類の特性を選択することができます。
- スピーカー A と B で違う特性を選ぶことができます。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞24 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で"Other"-"Speaker Setup"-"Response"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ でお好みの特性を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

【選択できる項目】

FLAT	フラットな特性です。(お買い上げ時の設定です。) スピーカーを家具の上やラックの上に直接設置すると、低域成分が多くなります。低域成分が多いと思われた時、RESPONSE1 〜 4 の中からお好みの特性を選択してください。
RESPONSE 1	60Hz 以下を -12dB/oct で低域をカットしています。
RESPONSE 2	100Hz 以下を -12dB/oct で低域をカットしています。
RESPONSE 3	60Hz 以下を -12dB/oct で低域をカットしています。さらに 400Hz 付近を 3dB 上げています。
RESPONSE 4	100Hz 以下を -12dB/oct で低域をカットしています。さらに 400Hz 付近を 3dB 上げています。

文字入力について

本機は、“Preset Name”（☞16ページ）の画面表示名をお好みに合わせて変更することができます。
文字の入力には、次の2通りの方法があります。

入力方式	操作の概要
数字ボタンで入力する	• リモコンで操作します。 • 一つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が切り替わります。
カーソルボタンで入力する	• リモコンまたは本体で操作します。 • △▽◁ ▷ と **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** で文字を入力します。

❑入力画面の表示

【Preset name】



数字ボタンで入力する

1 **文字の入力をおこなう画面を表示する。**

2 **◁ ▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせ、入力したい文字が表示されるまで、[NUMBER]（0～9）を押す。**

• 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

ボタン	文字	ボタン	文字
1（./）	1 . @ - _ / : ˜	6（MNO）	m n o M N O 6
2（ABC）	a b c A B C 2	7（PQRS）	p q r s P Q R S 7
3（DEF）	d e f D E F 3	8（TUV）	t u v T U V 8
4（GHI）	g h i G H I 4	9（WXYZ）	w x y z W X Y Z 9
5（JKL）	j k l J K L 5	0（_*）	0（スペース）! “ # $ % & ‘ ( ) * + , ; < = > ? [\ ] ^ ` { l }

• 文字を入力中に **[MODE]** を押すと、大文字と小文字を切り替えることができます。
• 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力した後に ▷ を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力してください。
• 別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、続けて別のボタンを押すと、自動的にカーソルを移動し、文字を確定します。

3 **手順2をくり返して名前を変更し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押して入力した文字を確定する。**

例：文字を“POPS”から“ROCK”に変更する場合

操作	表示
① “P”にカーソルを合わせる。	▸POPS
② 7（PQRS）を7回押す。 “P”が“R”に変わります。	▸ROPS
③ ▷を2回押す。 自動的に“R”を確定し、“P”にカーソルを合わせる。	▸ROPS
④ 2（ABC）を6回押す。 “P”が“C”に変わります。	▸ROCS
⑤ ▷を押す。 “C”を確定し、カーソルを“S”に合わせる。	▸ROCS
⑥ 5（JKL）を5回押す。 “S”が“K”に変わります。	▸ROCK

⑦ **[ENTER/MEMO]**または**<ENTER>**を押して、入力を確定する。

カーソルボタンで入力する

1 **文字の入力をおこなう画面を表示する。**

2 **◁ ▷ を押して、変更したい文字にカーソルを合わせる。**

3 **△▽ を押して文字を変更します。**

• 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英大文字】
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【英小文字】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【記号】! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { l } ˜
【数字】0123456789（空白）

• 文字を入力中に **[MODE]** を押すと、大文字と小文字を切り替えることができます。

他のボタン

• 文字を削除する場合は、⏮ を押します。
• スペースを入れる場合は、⏭ を押します。

4 **手順2、3をくり返して名前を変更し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押して入力した文字を確定する。**

オートパワーオン

電源がスタンバイのとき、**ON/STANDBY** 以外の次のボタンで電源がオンになり、次の動作をおこないます。

• **<⏏>** .... ディスクトレイが開きます。
• **▶II** .... ディスクまたは iPod/USB の再生を始めます。
• **[TUNER]**.................. チューナーの再生を始めます。
• **[DISC]** .... ソースが“DISC”に切り替わり、起動します。
• **[iPod/USB]**............. ソースが“iPod/USB”に切り替わり、起動します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種の設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
マイコンを初期化すると、各種の設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 **電源コードを抜く。**

2 **<VOLUME ▲> と <VOLUME ▼> を同時に押しながら、コンセントに電源プラグを差し込む。**

• “Initialized”を表示します。

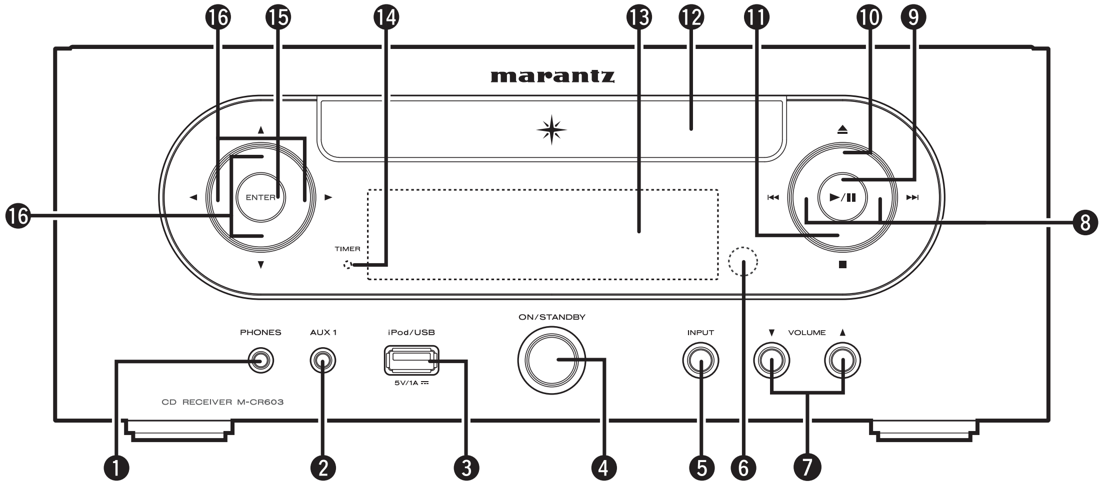
✎

手順2で“Initialized”が表示しない場合は、もう一度手順1からやり直してください。

各部の名称

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

フロントパネル



❶ **ヘッドホン端子(PHONES)**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(13)
ヘッドホンを接続します。

❷ **AUX1入力端子**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(22)
ポータブルオーディオ機器を接続します。

❸ **USB端子(iPod/USB)**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(10)
iPod または USB を接続します。

❹ **電源操作ボタン(ON/STANDBY)**‥‥‥‥‥‥‥‥(11)

❺ **INPUT button**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(12)
入力ソースを選択します。

❻ **リモコン受光部**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(4)

❼ **音量アップ/ダウンボタン(VOLUME ▲▼)**‥‥‥‥(12)
音量を調整します。

❽ **スキップ/選局ボタン(⏮、⏭)**‥‥‥‥‥‥‥‥(13)

❾ **プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚)**‥‥‥‥‥‥‥‥‥(13)

❿ **ディスクトレイ開閉ボタン (⏏)**‥‥‥‥‥‥‥‥(13)
ディスクトレイを開閉します。

⓫ **ストップボタン(■)**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(13)

⓬ **ディスクトレイ**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(3)
コンパクトディスクをセットするトレイです。

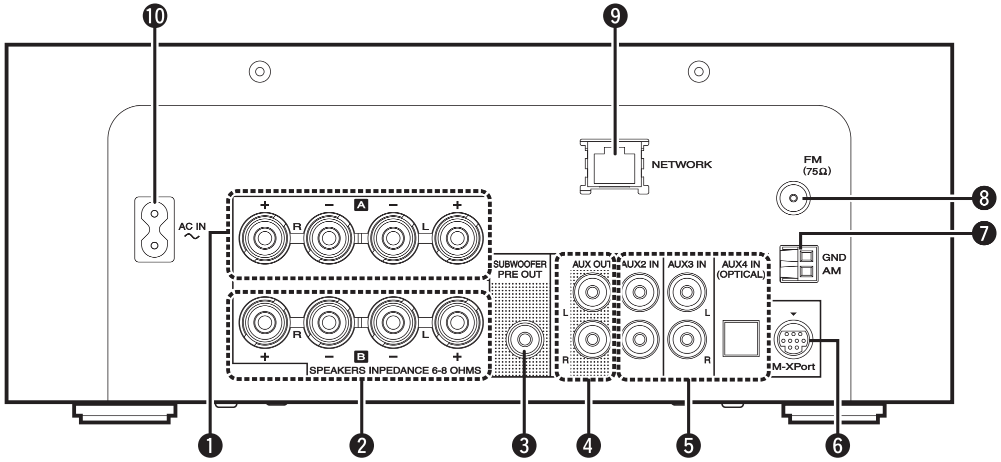
⓭ **ディスプレイ**
再生状態や設定などを表示します。

⓮ **タイマーインジケーター**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(26)

⓯ **エンターボタン**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(15)
項目の決定に使用します。

⓰ **カーソルボタン(△▽◁▷)**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(12)

リアパネル



❶ スピーカーA出力端子 ………………………(5)
スピーカーと接続してください。

❷ スピーカーB出力端子 …………………… (33)
スピーカーと接続してください。

❸ SUBWOOFER PRE OUT端子 …………(5)
パワードサブウーファーの入力端子と接続してください。

❹ AUX OUT端子 ……………………………(6)
外部のプリメインアンプと接続してください。

❺ AUX IN端子 ………………………………(6)
CD レコーダーや MD レコーダーと接続してください。

❻ M-XPort……………………………… (25)
ワイヤレスレシーバー RX101 と接続してください。

❼ AMアンテナ端子 …………………………(7)
付属の AM アンテナを接続してください。

❽ FMアンテナ端子…………………………(7)
付属の FM アンテナを接続してください。受信状況が良くないときは外部アンテナと接続してください。

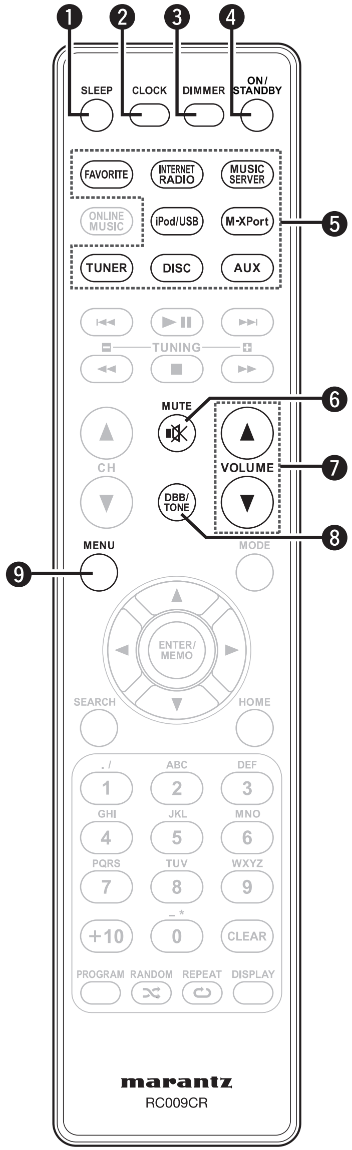
❾ ネットワーク端子 …………………………(8)

❿ AC電源コード接続端子……………… (10)
付属の AC 電源コードを接続してください。

リモコン

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

❑すべてのソース（DISC、TUNER、iPod、USB およびネットワーク）のときに操作できるボタン



❶ スリープタイマーボタン（SLEEP）…… (13)
❷ クロックボタン（CLOCK）………………… (27)
❸ ディマーボタン（DIMMER）……………… (13)
❹ 電源ボタン（ON/STANDBY）…………… (11)
❺ 入力ソース選択ボタン …………………… (12)
❻ 消音ボタン（MUTE）……………………… (12)
❼ 主音量調節ボタン（VOLUME）………… (12)
❽ ダイナミックバスブースト/トーンコントロールボタン（DBB/TONE）………………………… (12)
❾ メニューボタン（MENU）………………… (25)

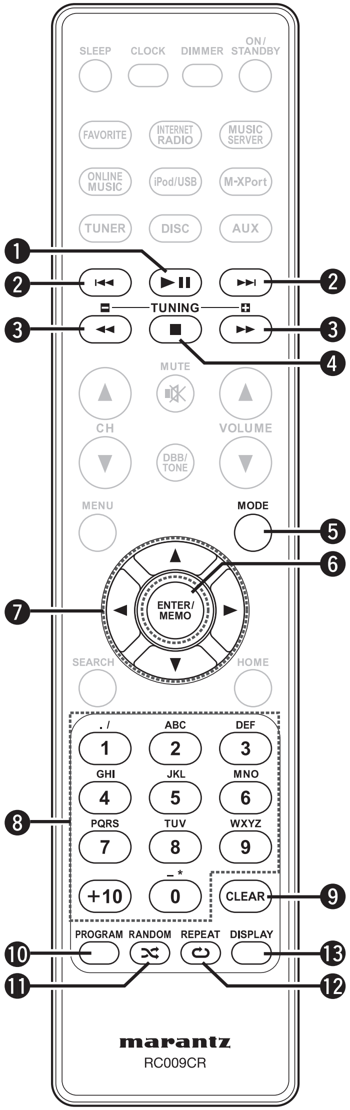
ご注意

本機で **[ONLINE MUSIC]** ボタンは使用しません。

ご使用になる前に
接続
基本操作
応用操作
情報
用語の解説
故障かな？と思ったら
保障と修理について
主な仕様
索引

❑ソースが “DISC” のときに操作できるボタン

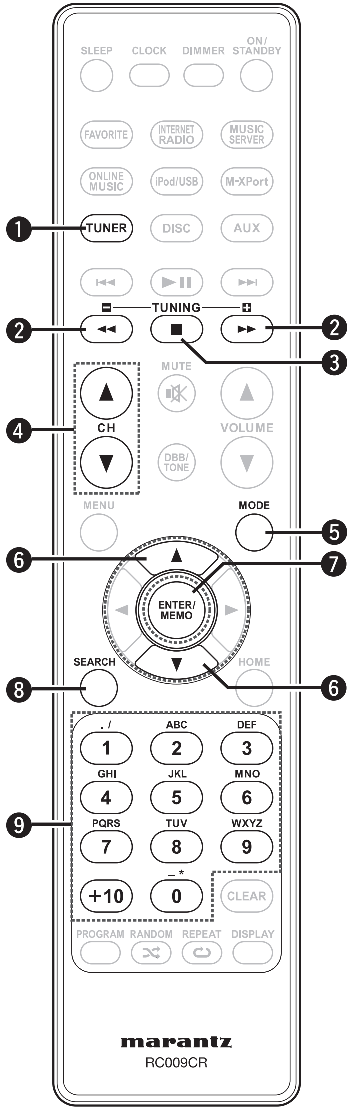
「すべてのソースのときに操作できるボタン」も使用できます。



❶ プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚) ············ (13)
❷ スキップボタン(I◀◀、▶▶I) ············ (13)
❸ 早送り/早戻しボタン(◀◀、▶▶) ······ (13)
❹ ストップボタン(■) ···························· (13)
❺ モードボタン(MODE) ······················ (14)
❻ エンター/メモリーボタン
(ENTER/MEMO) ································ (15)
❼ カーソルボタン(△▽◁ ▷) ················· (15)
❽ 番号ボタン ··· (13)
❾ クリアーボタン(CLEAR) ·················· (14)
❿ プログラムボタン(PROGRAM)········ (14)
⓫ ランダムボタン(RANDOM) ············· (13)
⓬ リピートボタン(REPEAT)················ (13)
⓭ ディスプレイボタン(DISPLAY)······· (14)

❑ソースが “TUNER” のときに操作できるボタン

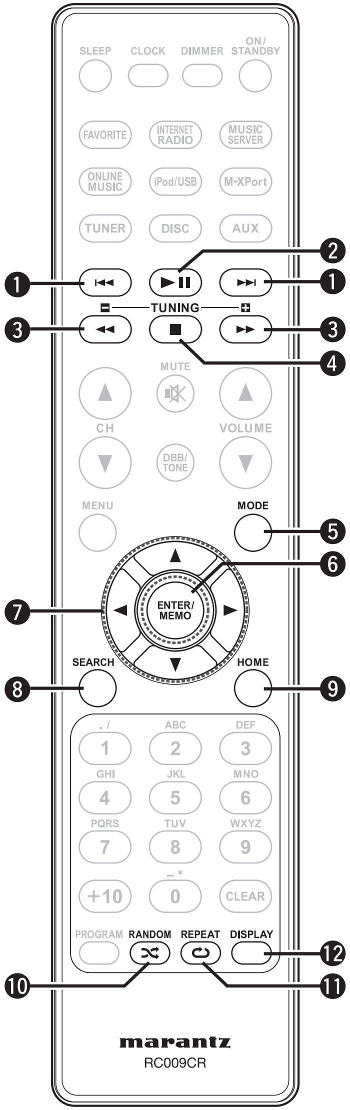
「すべてのソースのときに操作できるボタン」も使用できます。



❶ チューナーボタン(TUNER) ·············· (16)
❷ 選局ボタン(TUNING+、TUNING–) ·· (16)
❸ ストップボタン(■) ···························· (16)
❹ チャンネルボタン(CH ▲▼) ············· (17)
❺ モードボタン(MODE) ······················ (16)
❻ カーソルボタン(△▽◁ ▷) ················· (16)
❼ エンター/メモリーボタン
(ENTER/MEMO) ································ (16)
❽ サーチボタン(SEARCH) ··················· (16)
❾ 番号ボタン ··· (17)

❏ソースが “iPod”、“USB” のときに操作できるボタン

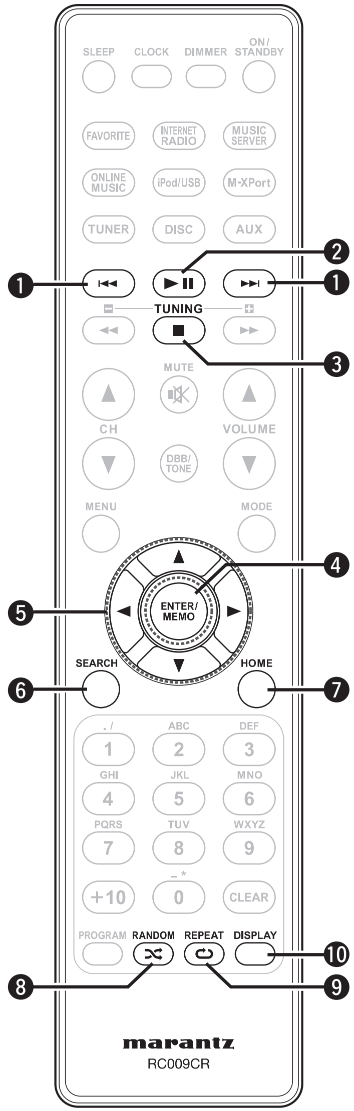
「すべてのソースのときに操作できるボタン」も使用できます。



❶スキップボタン(I◀◀、▶▶I) ……………(18)
❷プレイ/ ポーズボタン(▶/II) …………(18)
❸早送り/早戻しボタン(◀◀、▶▶) ……(18)
❹ストップボタン(■)…………………………(18)
❺モードボタン(MODE) ……………………(18)
❻エンター/メモリーボタン
(ENTER/MEMO)…………………………(18)
❼カーソルボタン(△▽◁ ▷)………………(18)
❽サーチボタン(SEARCH)………………(19)
❾ホームボタン(HOME) …………………(18)
❿ランダムボタン(RANDOM) ……………(18)
⓫リピートボタン(REPEAT)………………(18)
⓬ディスプレイボタン(DISPLAY)……(18)

❏ソースが “ ネットワーク ”、のときに操作できるボタン

「すべてのソースのときに操作できるボタン」も使用できます。



❶スキップボタン(I◀◀、▶▶I) ……………(21)
❷プレイ/ ポーズボタン(▶/II) …………(21)
❸ストップボタン(■)…………………………(21)
❹エンター/メモリーボタン
(ENTER/MEMO)…………………………(20)
❺カーソルボタン(△▽◁ ▷)………………(20)
❻サーチボタン(SEARCH)………………(21)
❼ホームボタン(HOME) …………………(21)
❽ランダムボタン(RANDOM) ……………(21)
❾リピートボタン(REPEAT)………………(21)
❿ディスプレイボタン(DISPLAY)……(20)

MP3 と WMA について

MP3 と WMA のフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで作成した CD-R または CD-RW ディスクを再生できます。

❑ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1
他のフォーマットで記録している場合は、正しく再生できないことがあります。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：512 個
最大フォルダ数：256 個

❑ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

❑タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32～320 kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48 kHz	64～192 kbps	.wma

- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- Mac の OS X で作成したファイルの中で、ファイル名の先頭に“._”が付いているファイルは、音楽データでないため再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

iPod®

“Made for iPod,”and “Made for iPhone,” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

ご注意

- 万一、iPod および iPhone のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod および iPhone のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近付けていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。

USB メモリーについて

知っておいてほしいこと

❑USB メモリーについて

本機の USB 端子に USB メモリーを接続すると、USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生することができます。
また、本機の USB 端子に iPod を直接接続しても、iPod に保存されたファイルを再生することができます。詳しくは、「iPod を接続する」（☞9 ページ）をご覧ください。

- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP（Media Transfer Protocol）に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーのフォーマットは、FAT16 または FAT32 に対応しています。

ファイル数が 1000 を超える場合、アクセス速度が遅くなる場合があります。

【再生できるフォーマット】

	USBメモリー*1
WMA（Windows Media Audio）	✓*2
MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）	✓
WAV	✓
MPEG-4 AAC	✓*3
FLAC（Free Lossless Audio Codec）	✓

*1 USB メモリーについて
- MP3 ID3 タグ（バージョン 2）に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- WAV フォーマットの量子化ビット数は、16 ビットです。

*2 MTP に対応した一部のポータブルプレーヤーは、著作権保護のあるファイルを再生できます。

*3 著作権保護の無いファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

【 再生できるフォーマット 】

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48 – 192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32 – 320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48 kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 – 320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/96 kHz	–	.flac

ネットワークオーディオについて

知っておいてほしいこと

❑インターネットラジオ機能について

- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機には、次のインターネットラジオ機能があります。
  - ジャンル別、地域別に選べます。
  - 最大 56 曲のインターネットラジオ局をプリセット登録できます。
  - MP3 や WMA（Windows Media Audio）フォーマットのインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  - パソコン上の Web ブラウザから弊社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオを登録することができます。
- お客様の機器ごとに管理をしますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。
  専用 URL：http://www.radiomarantz.com
- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner）を利用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

❑ミュージックサーバー機能について

ネットワークを経由して、本機に接続されたパソコン（ミュージックサーバー）に保存された音楽ファイルまたはプレイリスト（m3u、wpl）を再生することができます。
本機のネットワークオーディオ再生機能には、次の技術を利用してサーバーに接続できます。

- Windows Media Player Network Sharing Service
- Windows Media DRM10

【 再生できるフォーマット 】

	インターネットラジオ	ミュージックサーバー ＊1
WMA (Windows Media Audio)	✓	✓
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓	✓
WAV		✓
MPEG-4 AAC		✓＊2
FLAC (Free Lossless Audio Codec)		✓

ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

＊1 ミュージックサーバーについて
- MP3 ID3 タグ（バージョン 2）に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- WAV フォーマットの量子化ビット数は、16 ビットです。

＊2 著作権保護の無いファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

【 再生できるフォーマット 】

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48 – 192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32 – 320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48 kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 – 320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/96 kHz	–	.flac

用語の解説

A

A2DP 規格

A2DP は、ケーブルの代わりに無線通信を使用する Bluetooth の車載機器向けや AV 機器向けに定められたプロファイルの 1 つです。

D

DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance（デジタルリビングネットワークアライアンス）の商標 / サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED™ 製品と適合しないものがある可能性があります。

F

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。

FLAC のライセンスについては、以下の通りです。

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。

映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。

音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

V

vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。

本サービスに関するお問い合せは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。

vTuner ホームページ：

http://www.radiomarantz.com

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCoの知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else MattersSoftwareand BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

W

Windows Media DRM

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。

コンテンツプロバイダーは、自らのコンテンツ（"セキュアコンテンツ"）の完全性を保護するために、本デバイス（"WMDRM"）に内蔵された Windows Media 用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権（著作権を含む）が悪用されないようにしています。

本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WMDRM ソフトウェア（"WM-DRM ソフトウェア"）を使用しています。本デバイス内の WM-DRM ソフトウェアのセキュリティがあやうくなった場合、セキュアコンテンツの所有者（"セキュアコンテンツオーナー"）は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得る WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生する WM-DRM ソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードすることができます。

Windows Media Player Ver. 11

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。

Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコード（符号化）することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

さ行

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで、Ω（オーム）という単位であらわします。

この値が小さいほど大きな出力が得られますが、アンプにかかる負担は増えます。本機が対応しているインピーダンスのスピーカーをお使いください。

た行

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

は行

ビットレート（Bit rate）

ディスクに収録された映像・音声のデータを 1 秒間に読み込む量をあらわします。

ファイナライズ

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧などの異常が起きたときに、本機の電源をスタンバイ状態にする機能です。過負荷や過電圧から本機内部の回路の破損を防ぎます。

故障かな？と思ったら

❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症状	原因	対策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	• 外部からのノイズや妨害によって本機が誤動作している。	• マイコンを初期化してください。	35
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	• 電源コードの差し込みが不完全である。	• 本機のリアパネルおよびコンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	10
ディスプレイは点灯するが、音が出ない。	• ソースと合っていない。 • 主音量が小さすぎる。 • 消音（ミューティング）モードになっている。	• 適切なソースに切り替えてください。 • 主音量を適切な大きさに調節してください。 • 消音（ミューティング）モードを解除してください。	12 12 12
表示が暗い。	• ディマー機能がはたらいている。	• DIMMER ボタンでディマー機能を解除してください。	13
突然電源が切れ、タイマー表示が赤色で点滅している。 （0.5 秒間隔で点滅）	• 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいている。 • スピーカーケーブルの芯線どうしの接触や、芯線が端子から外れて本機のリアパネルに接触したために、保護回路がはたらいている。	• 一度電源を切って、本体の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。 • 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。 • 電源コードを抜き、芯線をしっかりとより直してから接続し直してください。	6 2 5
突然電源が切れ、タイマー表示が赤色で点滅している。 （0.25 秒間隔で点滅）	• 本機が故障している。	• 電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	–
TV の音が出力されない。	• 本機の AUX4 IN（OPTICAL）端子で入力できるデジタル音声信号は 2 チャンネルリニア PCM のみです。	• 2 チャンネルリニア PCM 信号以外のデジタル音声信号を本機に入力する場合は、TV のデジタル音声出力設定を 2 チャンネル PCM に設定してください。 詳しくは TV の取扱説明書をご覧ください。	–

【リモコン】

症状	原因	対策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	• 乾電池が消耗している。 • 本体から離れすぎているか、角度が良くない。 • 本機とリモコンの間に障害物がある。 • 乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。 • 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっている。	• 新しい乾電池と交換してください。 • リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲内で操作してください。 • 障害物を取り除いてください。 • 正しい極性でセットしてください。 • 受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	4 4 – 4 4

【CD】

症状	原因	対策	関連ページ
CD を入れてもディスプレイが“Unsupported”表示になる。	• CD が正しく入っていない。	• CD を入れ直してください。	3
▶/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	• CD が汚れたり、傷が付いたりしている。	• CD の汚れを拭き取るか、他の CD と入れ替えてください。	3
ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	• CD が汚れたり、傷が付いたりしている。	• CD の汚れを拭き取るか、他の CD と入れ替えてください。	3
CD-R/CD-RW が再生できない。	• ファイナライズをしていない。 • 記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	• ファイナライズをしてから再生してください。 • 正しく記録しているディスクをご使用ください。	3 –
MP3、WMA のファイルが再生できない。	• ファイルフォーマット、または拡張子、またはディスク作成時の設定が本機に対応していない。	• 本機に対応したファイルフォーマット、拡張子、ディスク作成時の設定でディスクを作成してください。	40

【チューナー】

症状	原因	対策	関連ページ
FM 放送に“ザー”という雑音が入る。	• アンテナケーブルを正しく接続していない。	• アンテナケーブルを正しく接続してください。 • 屋外アンテナに接続してください。	7 –
AM 放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	• テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	• テレビを消してください。 • AM 用ループアンテナの位置や向きを変えてください。	– 7

【インターネットラジオ / ミュージックサーバー /iPod/USB】

症状	原因	対策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに“USB”を表示しない。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。 • マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。 • 本機が認識できないデバイスを接続している。 • USB ハブ経由で接続している。	• 接続を確認してください。 • 本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。 • 故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。 • USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB メモリーも再生できません。	10 – – –
iPod が再生できない。	• ソースが“iPod/USB”以外になっている。 • ケーブルを正しく接続していない。	• ソースを“iPod/USB”に切り替えてください。 • 接続をやり直してください。	18 9
USB メモリー内のファイルが再生できない。	• USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。 • 複数のパーティションに分かれている。 • ファイルが対応しているフォーマット以外で記録している。 • 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	• フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB メモリーの取扱説明書をご覧ください。 • 複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。 • 対応しているフォーマットで記録してください。 • 本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	– – 40 40
インターネットラジオが再生できない。	• イーサネットケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断される。 • 対応していないフォーマットで放送されています。 • パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。 • ラジオステーションが放送を停止している。 • IP アドレスが違っている。	• 接続状態を確認してください。 • 本機で再生できるインターネットラジオのフォーマットは MP3 と WMA のみです。 • 接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。 • 放送中のラジオステーションを選んでください。 • 本機の IP アドレスを確認してください。	8 41 – 20 24
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。 • 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。 • 本機とパソコンが USB ケーブルで接続されている。	• 対応しているフォーマットで記録してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 • 本機の USB 端子は、パソコンと接続することはできません。	41 41 –
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。 • パソコンの電源が入っていない。 • サーバーが起動していない。 • 本機の IP アドレスが正しくない。	• 接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。 • 電源を入れてください。 • サーバーを起動してください。 • 本機の IP アドレスを確認してください。	– – – 24
プリセットまたはお気に入りに登録したラジオステーションに接続できない。	• ラジオステーションが放送を休止している。 • ラジオステーションがサービスを停止している。	• しばらく時間をおいてやり直してください。 • 放送中のラジオステーションを選んでください。	–
“Server Full”または“Connection Down”と表示され、接続できないラジオステーションがある。	• 放送局が混雑しているか、現在放送を休止している。	• しばらく時間をおいてやり直してください。	–
再生中に、音が途切れることがある。	• ネットワークの通信速度が遅いか、通信回線またはラジオステーションが混雑している。	• これは故障ではありません。ビットレートの高い放送データを再生している場合や、通信の状況によっては、音が途切れることがあります。	–
音質が良くない。または再生中にノイズが入る。	• 再生しているファイルのビットレートが低いです。	• これは故障ではありません。	–

【M-XPort】

症状	原因	対策	関連ページ
音声が出力されない。	• Bluetooth 機器とワイヤレスレシーバー（RX101）の間で、正しくペアリングされていない。	• もう一度ペアリングを実行してください。	–
音が歪む、または途切れる。	• このユニットと同じ周波数帯（2.4 ギガヘルツ）で電磁波を使用する無線 LAN か電子レンジなどの機器が側にあります。	• 本機を移動するか、Bluetooth 機器を設置した場所から移動してください。	–
Bluetooth 機器を操作できない。	• Bluetooth 機器が AVRCP コマンドに対応していない。	• あなたが使用している Bluetooth 機器の取扱説明書で、Bluetooth 機器が AVRCP コマンドに対応するかを調べてください。	–

保障と修理について

❑保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❑修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❑依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 ········ 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 ···· 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❑補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❑お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑ CD プレーヤー部

• オーディオ性能	
S/N比（1kHz）	100 dB
ダイナミックレンジ（1kHz）	100 dB
全高調波歪率（1 kHz）	0.01 %

❑ オーディオアンプ部

定格出力（1kHz, 全高調波歪率 0.1 %、8 Ω）	40 W + 40 W
（1kHz, 全高調波歪率 0.1 %、6 Ω）	50 W + 50 W
実用最大出力（1kHz, 全高調波歪率 10 %、8 Ω）	50 W + 50 W
（1kHz, 全高調波歪率 10 %、6 Ω）	60 W + 60 W
入力感度/インピーダンス	
AUX1	110 mV/24 k Ω
AUX2, AUX3	200 mV/32 k Ω
周波数特性（5 W, 8 Ω）	
AUX入力	5 Hz to 20 kHz (± 3 dB)
全高調波歪率（1 kHz、5 W、8 Ω）	
AUX入力	0.05 %
S/N (10 W, 8 Ω, IHF-A)	
AUX入力	86 dB

❑ チューナー部

• FMチューナー	
受信周波数範囲	76.0 to 90.0 MHz
S/N比（モノラル）	65 dB
感度（S/N 30 dB）	9 dBμV (IHF)
• AMチューナー	
受信周波数範囲	522 to 1629 kHz
S/N比	40 dB
感度（S/N 20 dB）	55 dBμV/m

❑ 時計

時計方式	電源周波数周期方式（月差 1～2 分以内）

❑ 電源部

電源電圧/周波数	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	50W
待機時消費電力	0.4 W

❑ その他

外形寸法（幅×高さ×奥行き）	280 x 111 x 302 mm
重さ	4.3 kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

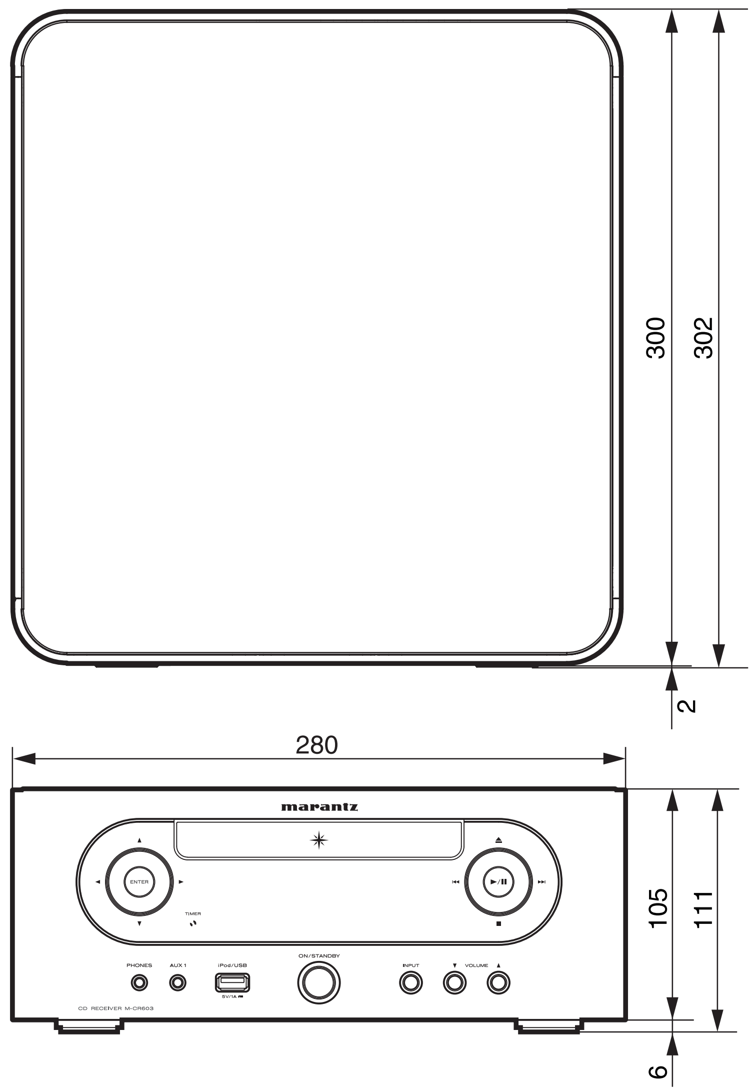
※本機は国内仕様です。
必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

索引

❑外観寸法図（単位：mm）


300
302
2
280
105
111
6
marantz
ENTER
TIMER
PHONES
AUX 1
iPod/USB
ON/STANDBY
INPUT
VOLUME
CD RECEIVER M-CR603

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社**マランツ**コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

http://www.marantz.jp

Printed in China　5411 10507 20AM